

JCx-33A (DCL-33A) モニタソフト

SWM-JC001M

取扱説明書

目 次

本書について.....	2
モニタソフト使用上の注意	2
1. モニタソフトご使用の準備	3
1.1 動作環境	3
1.2 インストール手順	7
Windows Me/2000/XP の場合	8
Windows 95/98/NT4.0 の場合	13
1.3 アンインストール手順	18
2. モニタソフトの起動と終了	21
2.1 パソコンへの配線	21
2.2 モニタソフトの起動.....	22
2.3 モニタソフトの画面および操作.....	24
2.3.1 画面の切り替え	24
(1) メイン画面	24
(2) 1 チャンネル画面	26
(3) 設定画面	27
(4) チャート画面	28
(5) チャート描写条件設定画面	29
(6) ロギング画面	30
(7) 全チャンネル一括設定画面	32
2.3.2 メニューバーの操作	35
(1) プリンタ選択.....	35
(2) 印刷	35
(3) モニタソフトの終了	35
(4) チャンネル名登録.....	36
(5) 警報表示色設定	36
(6) チャンネル単位 設定値のセーブとロード	37
(7) 全チャンネル一括 設定値のセーブとロード	39
(8) アラームヒストリ画面	41
(9) ヘルプ画面	42
(10) バージョン情報画面	43

Shinko

本書について

- ・ 本書は、JCx-33A (DCL-33A)モニタソフト “SWM-JC001M” (以下、モニタソフト)のインストール方法について説明したものです。
- ・ 本書の説明は、Windows Meで行っていますが、他のOS(Windows95/98/NT4.0/2000/XP)も同様の操作で行えます。
- ・ 本書では“XXページを参照してください”を(➡P.XX)と表現しております。

モニタソフト使用上の注意

ソフトウェア使用許諾契約書

1. 使用許諾

- (1)お客様は、本契約に同意していただいた場合のみモニタソフトを使用することができます。
- (2)お客様は、モニタソフトをリバースエンジニアリング、逆コンパイルもしくは逆アセンブルをしてはならないものとします。

2. 著作権

モニタソフトに関する著作権は、神港テクノス株式会社(以下、弊社と表記します)が保有しています。

3. 譲渡の規制

お客様は、モニタソフトを譲渡、貸与またはリースすることはできません。

4. 複製

お客様は、モニタソフトのコピーを配布することはできません。

5. 免責

- (1)弊社は、モニタソフトを使用した結果に関していかなる保証も行いません。
モニタソフトに関して発生する問題は、お客様の責任および費用負担によって処理されるものとします。
- (2)弊社はいかなる場合であっても、お客様がモニタソフトを使用することにより生じ商業的利益の逸失、商業の支障その他いかなる損害について、たとえかかる損害が生じる可能性があることにつき通知を受けていた場合であっても一切の責任を負わないものとします。

・ Windows95/98/Me/NT4.0/2000/XPは、米国マイクロソフト社の登録商標です。

1. モニタソフトご使用の準備

1.1 動作環境

モニタソフトは、下記の環境で動作します。

●パソコン

Windowsで動くパソコン

- ・ RS-232Cインタフェース装備(COM1またはCOM2)
- ・ ハードディスク空き容量 インストール時, 50Mバイト以上
- ・ CD-ROMドライブ装備

●OS

Windows XP Home Edition (日本語版/英語版)
Windows XP Professional (日本語版/英語版)
Windows 2000 Professional (日本語版/英語版)
Windows Me (日本語版/英語版)
Windows NT4.0 (日本語版/英語版)
Windows 98 (日本語版/英語版)
Windows 95 (日本語版/英語版)

●ディスプレイ

解像度 800×600ドット以上

フォントは“小さいフォント”でご使用ください。

フォントの設定方法を以下に示します(➡P.3～6)。

・フォントの設定方法

“大きいフォント”から“小さいフォント”に変更する設定方法を、下記の手順で行います。

(1) 起動しているアプリケーションを全て終了してください。

スタートメニューから、[設定(S)]-[コントロールパネル(C)]を選択しクリックしてください。

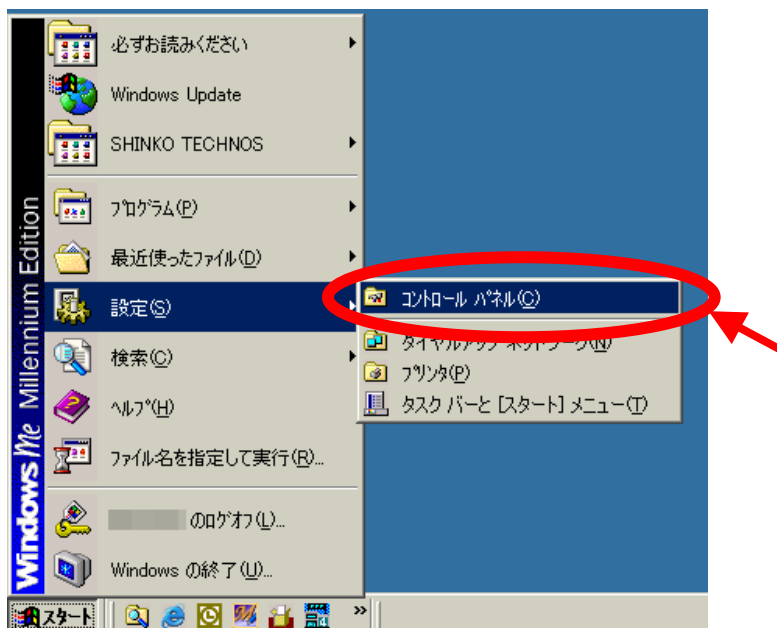


図1.1-1

(2) [画面]アイコンをダブルクリックしてください。

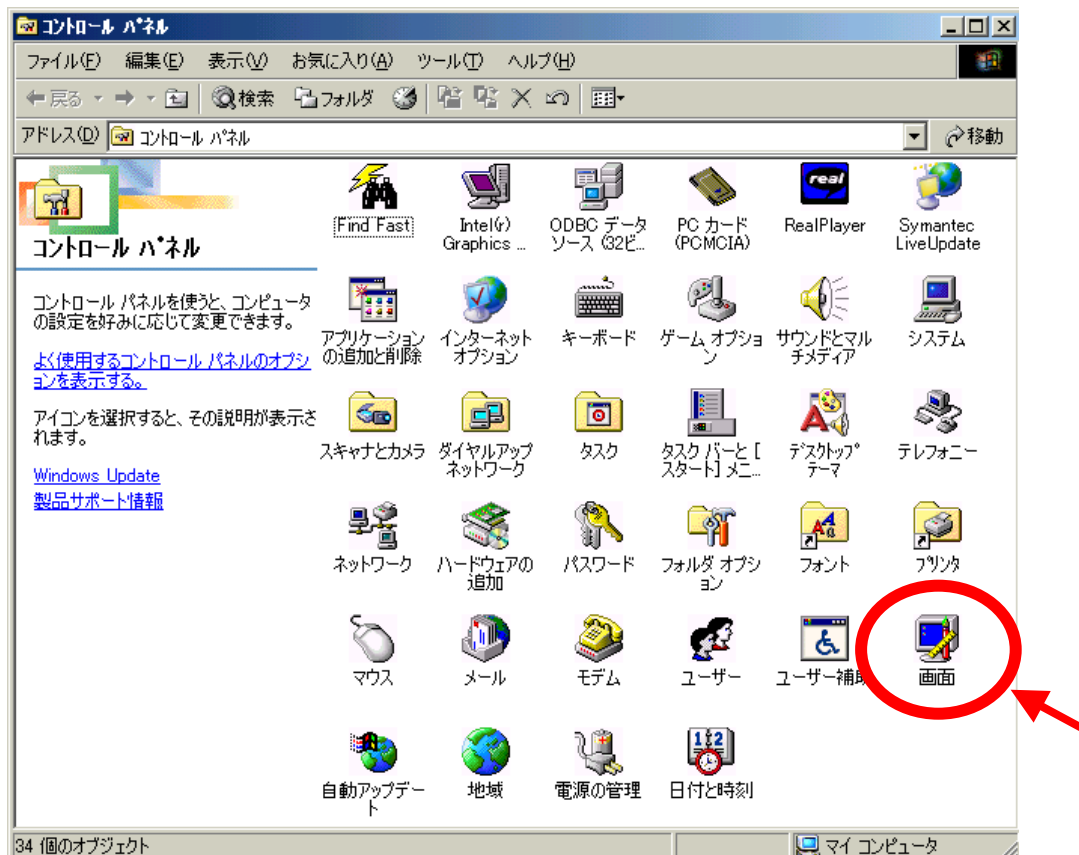


図1.1-2

(3) [設定]タブをクリックしてください。

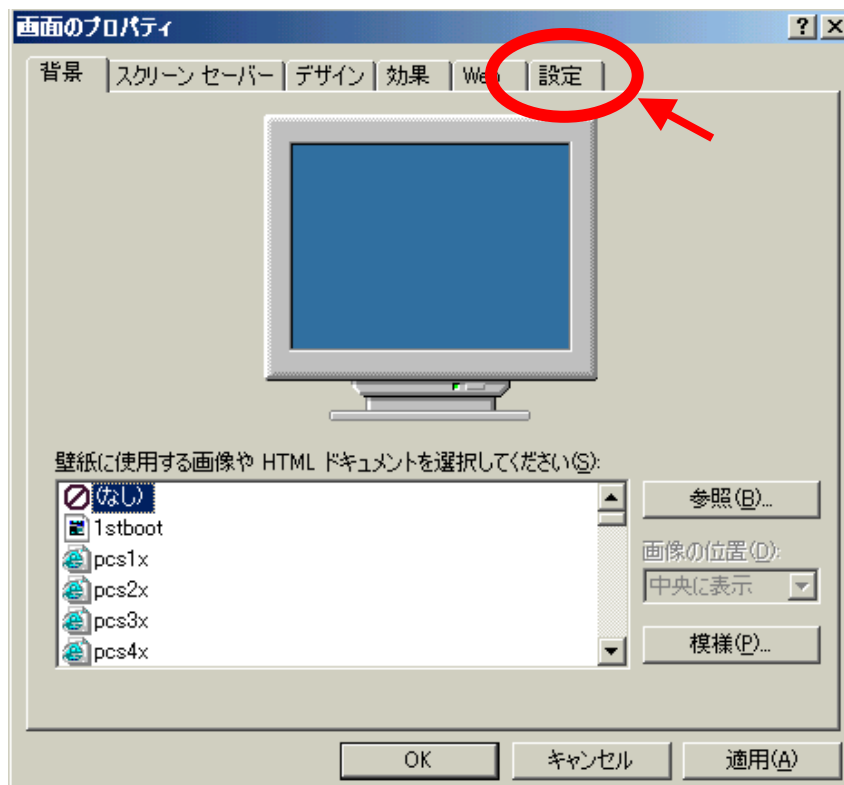


図1.1-3

(4) [詳細(D)] ボタンをクリックしてください。

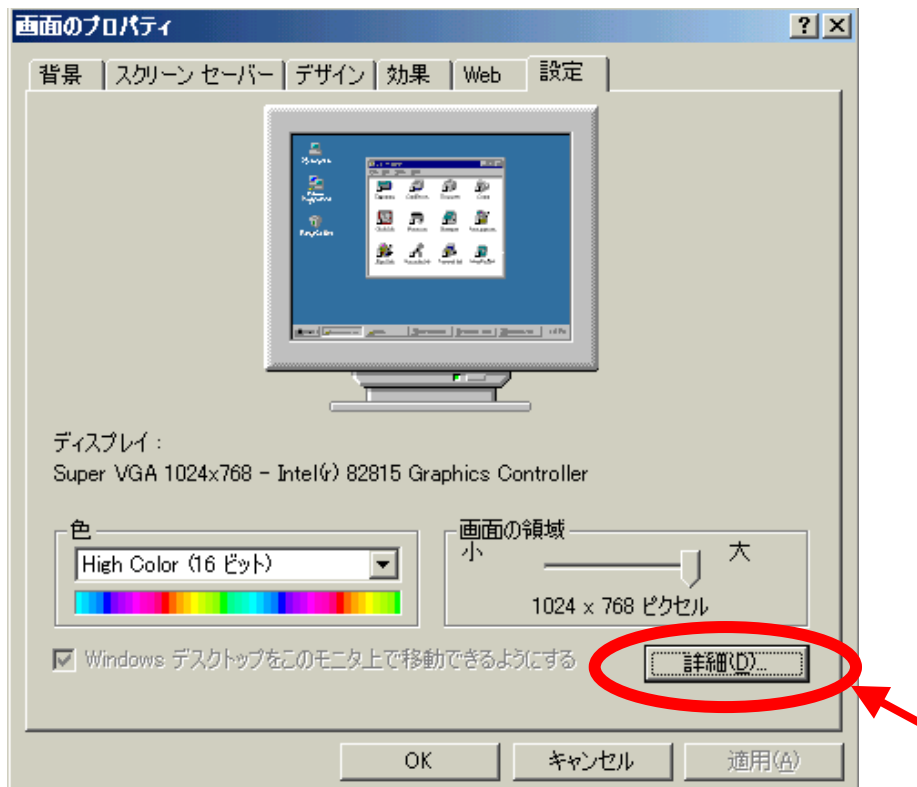


図1.1-4

(5) ディスプレイのフォントサイズ(E)を“小さいフォント”にし、[OK] ボタンをクリックしてください。

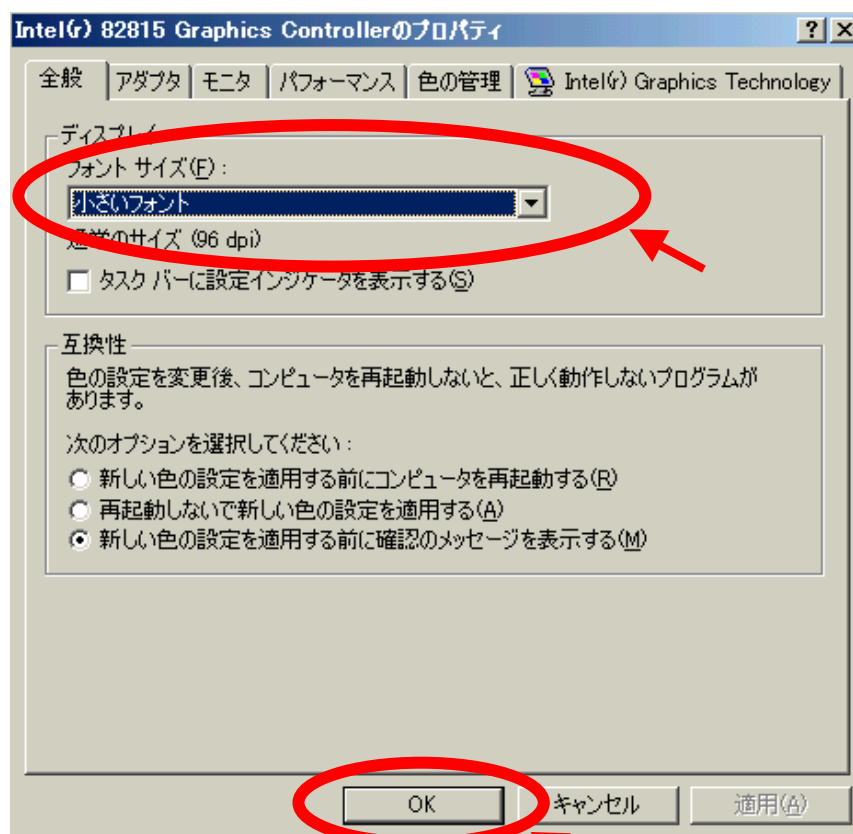


図1.1-5

(6) [閉じる] ボタンをクリックしてください。

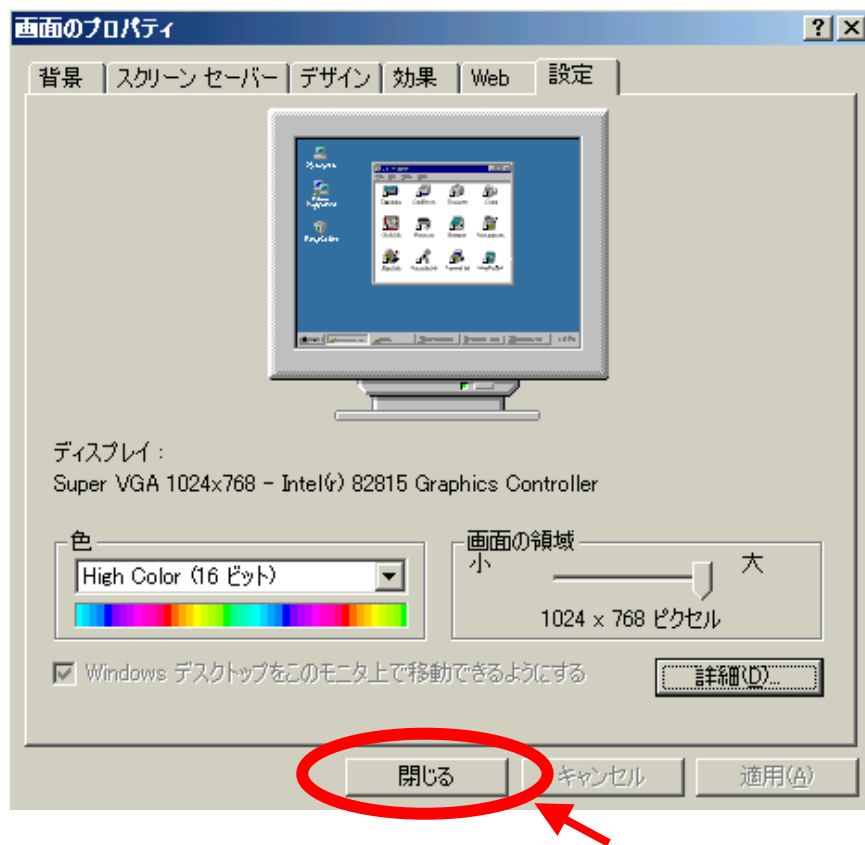


図1.1-6

(7) [はい(Y)] ボタンをクリックしてください。

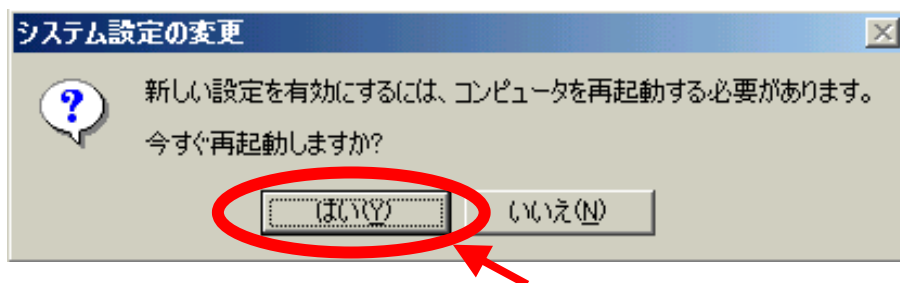


図1.1-7

(8) システムの再起動後、フォントが“小さいフォント”に設定されます。

1.2 インストール手順

インストールを始める前に、他に起動しているアプリケーションを全て終了してください。
フォントを“小さいフォント”に設定してください。(➡P.3～6)

パソコンのドライブ構成は下記の通りです。

本書は、Dドライブにダウンロード、解凍したことを前提に、セットアップの方法を説明します。
お使いの環境に合わせてドライブを指定してください。

- Aドライブ: フロッピーディスク
- Cドライブ: ハードディスク
- Dドライブ: ハードディスク
- Eドライブ: CD-ROM

ダウンロードしたフォルダ内には、2種類のインストールファイルが収められています。

- ・ SWM-JC001M_Vxxx.msi [Win2000フォルダ内]

モニタソフトのインストール実行ファイルです。

Windows Me/2000/XP の場合使用してください。

インストール手順(➡P.8～12)

- ・ setup.exe [Win95-English / Win95-Japaneseフォルダ内]

モニタソフトのインストール実行ファイルです。

Windows95/98/NT4.0 の場合または上記ファイルでインストールできない場合使用してください。

インストール手順(➡P.13～17)

Windows Me/2000/XP の場合

(1) スタートメニューから、[ファイル名を指定して実行(R)]を選択しクリックしてください。

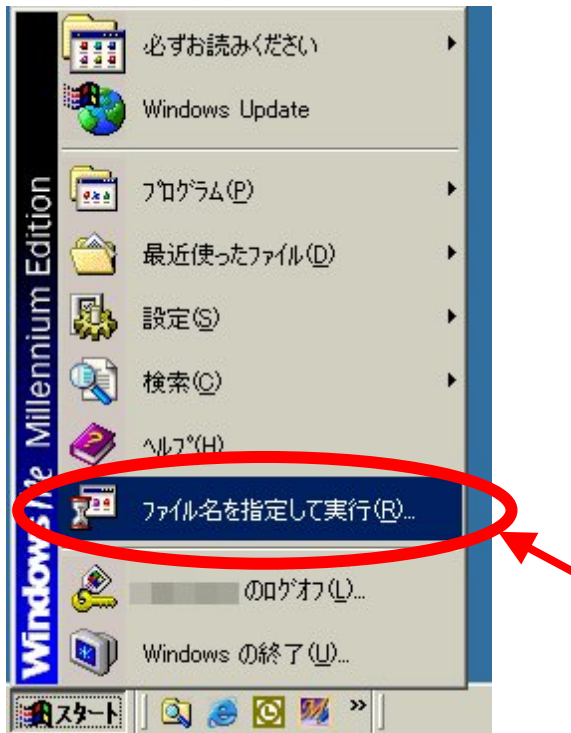


図1.2-1

(2) [参照(B)]ボタンをクリックしてください。

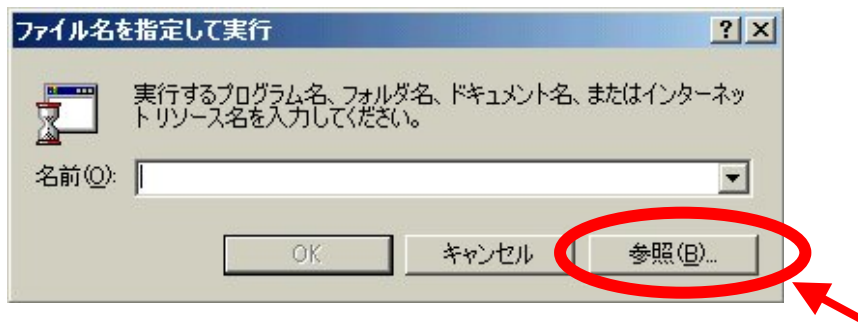


図1.2-2

(3) ファイルの場所(L)ダイアログボックスから "ローカルディスク (D:)"を選択してください。

"SWM-JC001M_Vxxx" - "Win2000"フォルダを選択してください。

ファイルの種類(I)を"すべてのファイル"に設定してください。

ファイル"SWM-JC001M_Vxxx.msi"を選択し、[開く(O)]ボタンをクリックしてください。

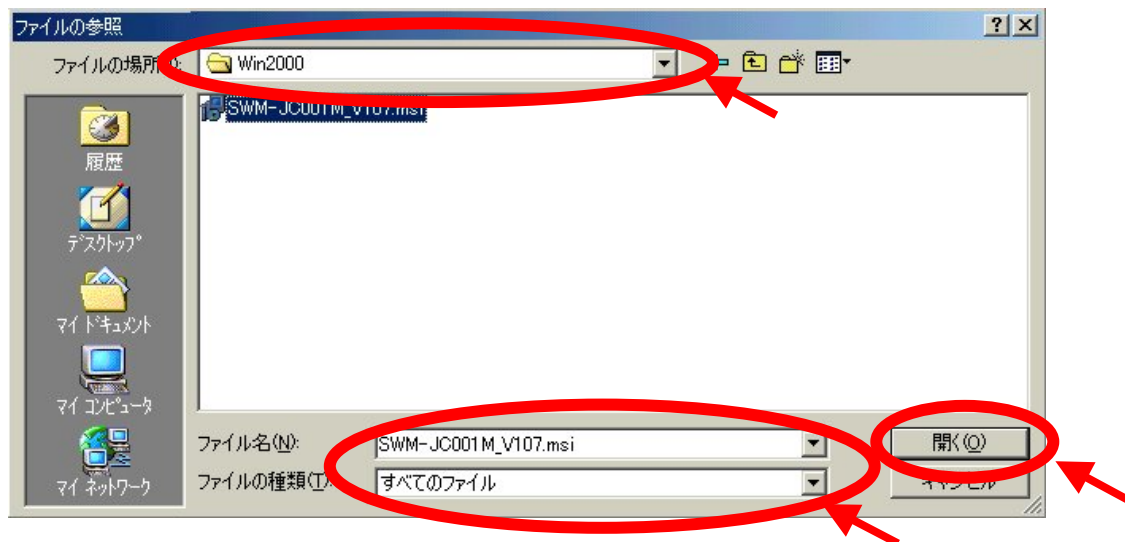


図1.2-3

(4) [OK] ボタンをクリックしてください。

SWM-JC001M_Vxxx セットアップウィザードを表示します。

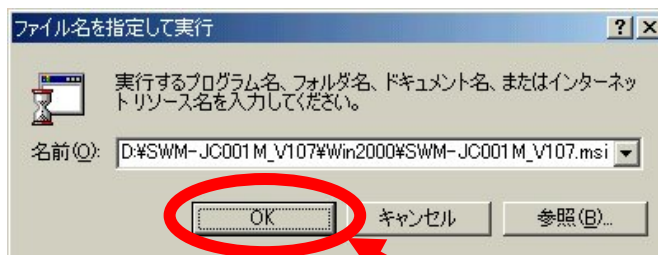


図1.2-4

(5) [Next] ボタンをクリックしてください。

インストールを中止、終了したい場合、[Cancel] ボタンをクリックしてください。

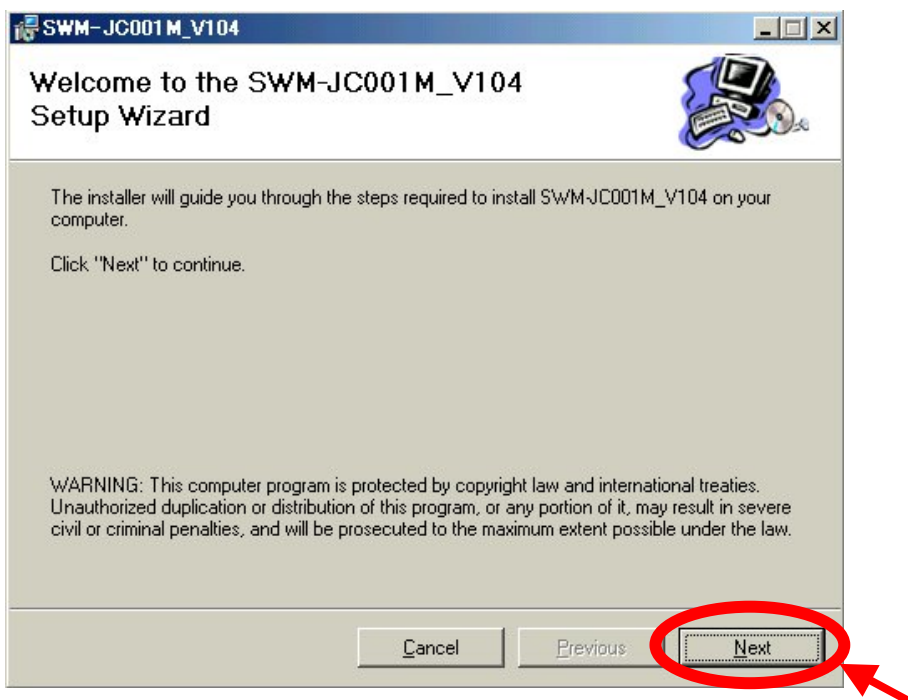


図1.2-5

(6) インストール先のドライブ名とフォルダ (ディレクトリ) 名を確認してください。

最初は"C:¥Program Files¥SWM-JC001M_Vxxx¥"にインストールするよう指定されています。

上記インストール先でよければ, [Next] ボタンをクリックしてください。

インストールを中止, 終了したい場合, [Cancel] ボタンをクリックしてください。

前画面に戻りたい場合, [Previous] ボタンをクリックしてください。

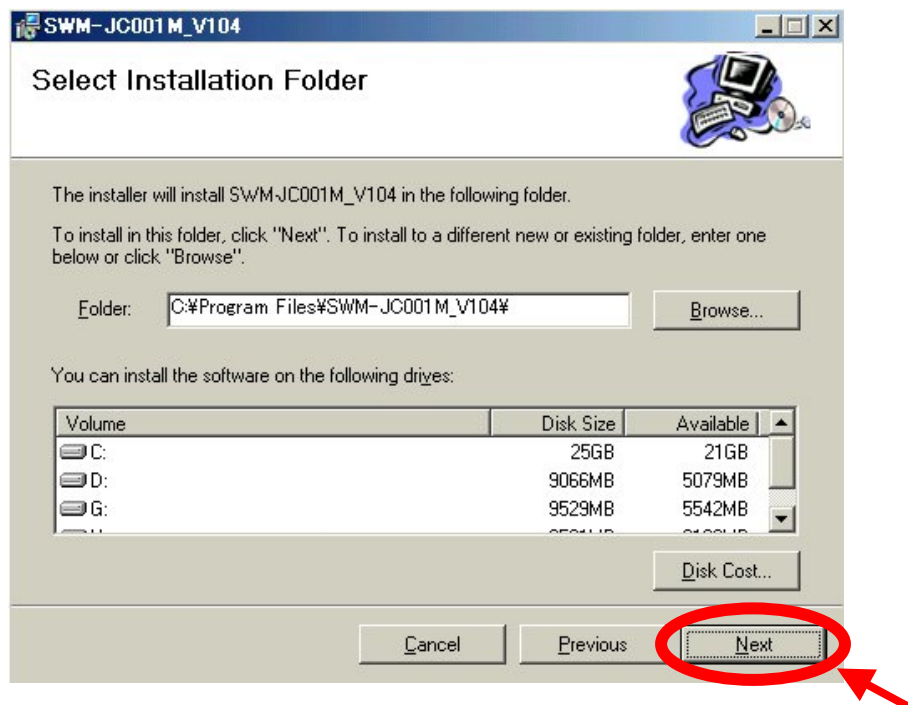


図1.2-6

インストール先の変更画面

インストール先を変更したい場合, [Browse] ボタンをクリックしてください。

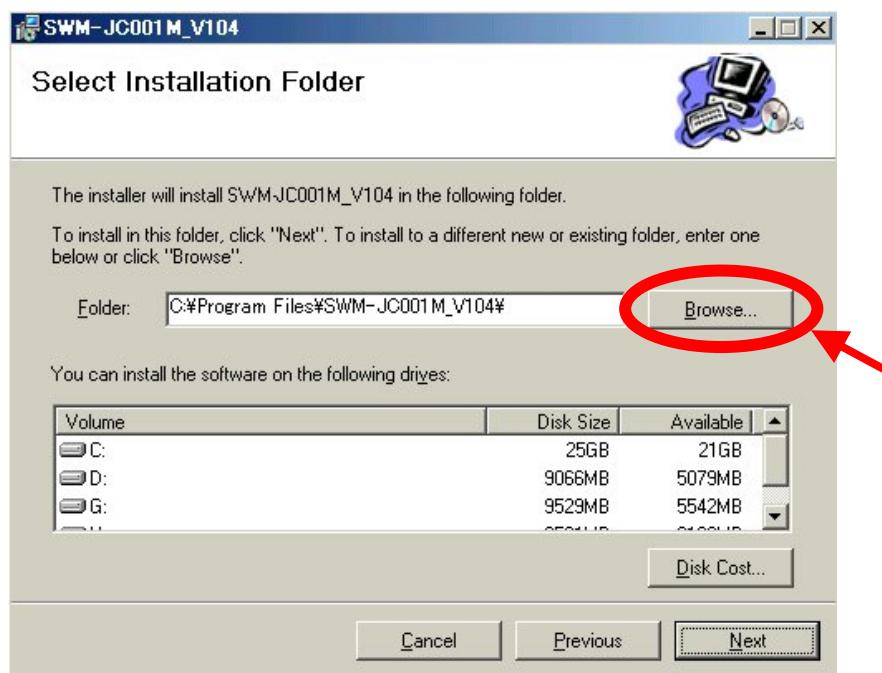


図1.2-7

ドライブ名とフォルダ(ディレクトリ)名を指定し、[**OK**]ボタンをクリックしてください。
何の操作もせず、前画面に戻りたい場合、[**C**ancel]ボタンをクリックしてください。

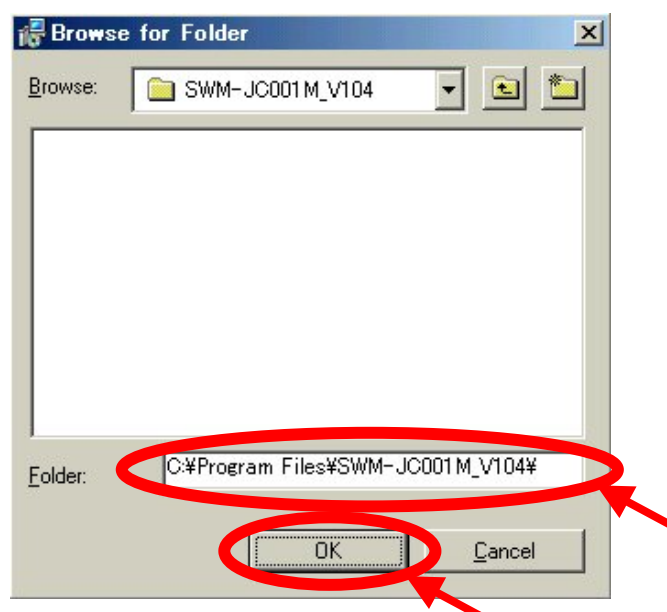


図1.2-8

(7) インストールの確認画面が表示されます。

[**N**ext]ボタンをクリックしてください。

インストールを中止する場合、[**C**ancel]ボタンをクリックしてください。

前画面に戻りたい場合、[**P**revious]ボタンをクリックしてください。

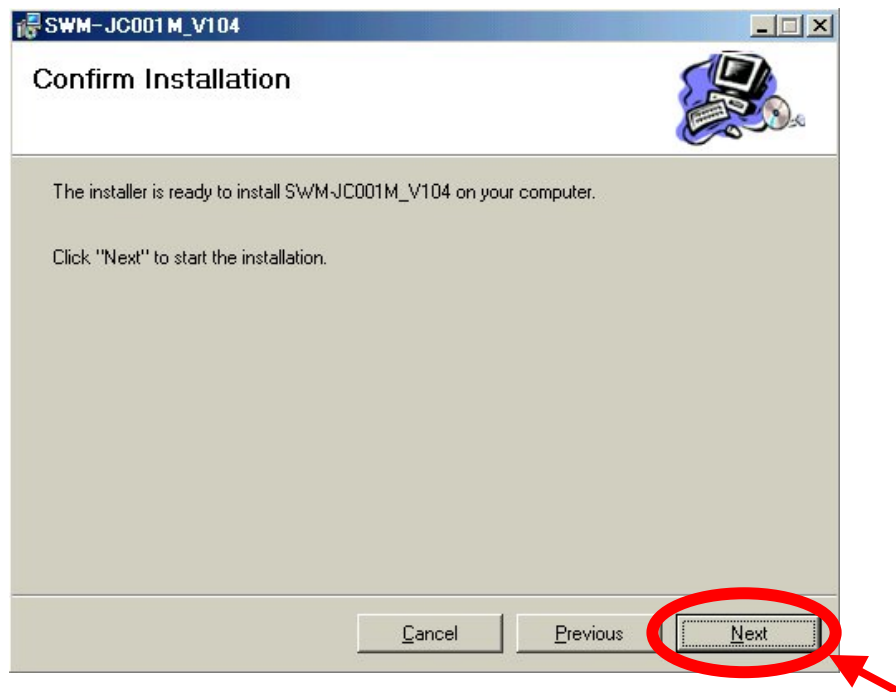


図1.2-9

- (8) ファイルをコピーする状況をバーグラフで表示します。
インストールを中止する場合、[**C**ancel]ボタンをクリックしてください。

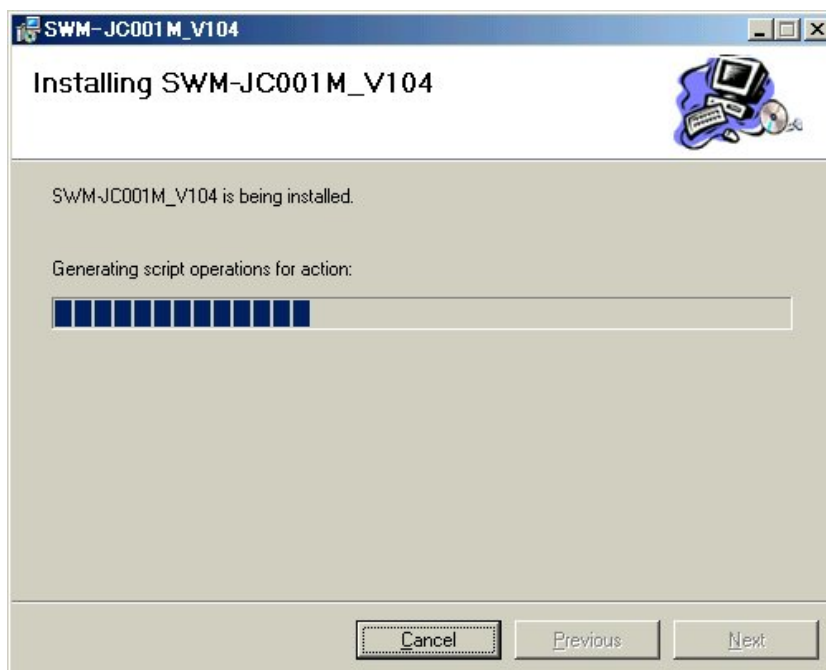


図1.2-10

- (9) インストールが完了すると、以下の画面を表示します。
[**C**lose]ボタンをクリックしてください。

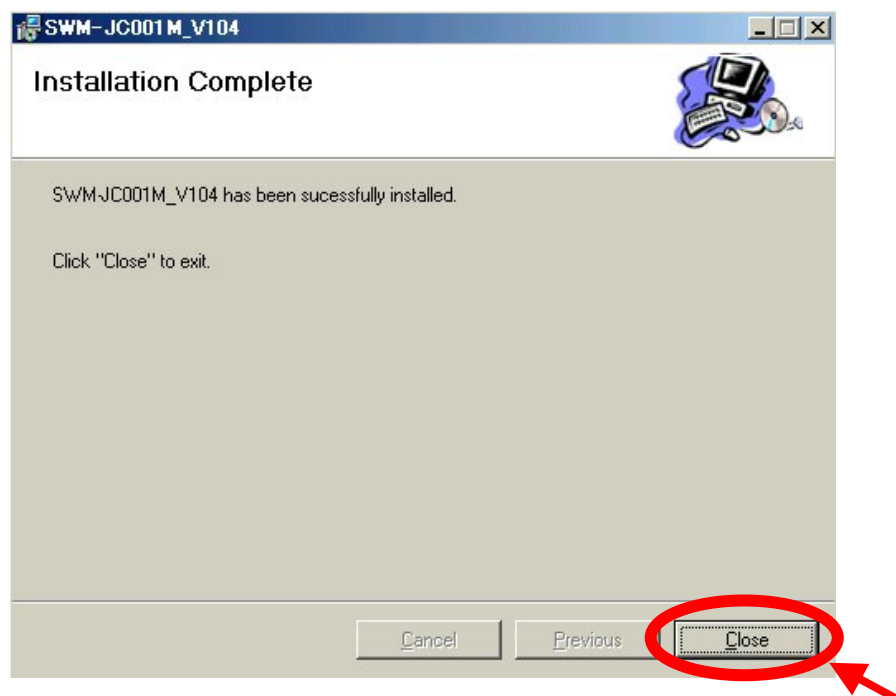


図1.2-11

Windows 95/98/NT4.0 の場合

(1) スタートメニューから、[ファイル名を指定して実行(R)]を選択しクリックしてください。

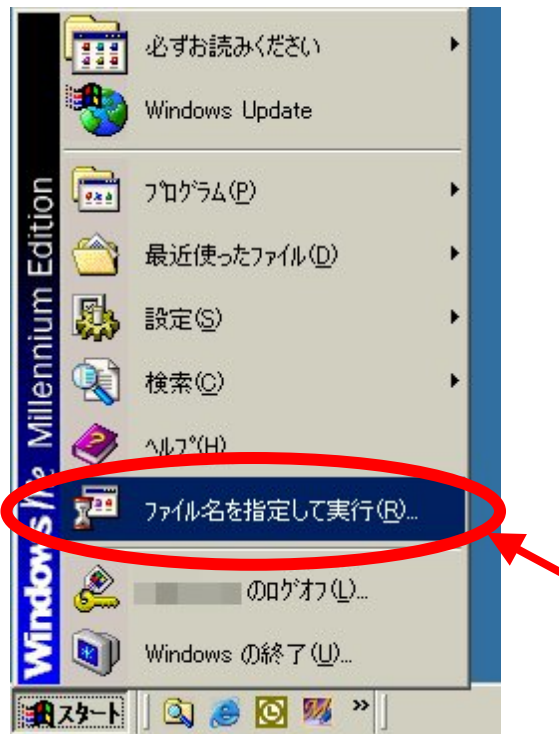


図1.2-12

(2) [参照(B)]ボタンをクリックしてください。

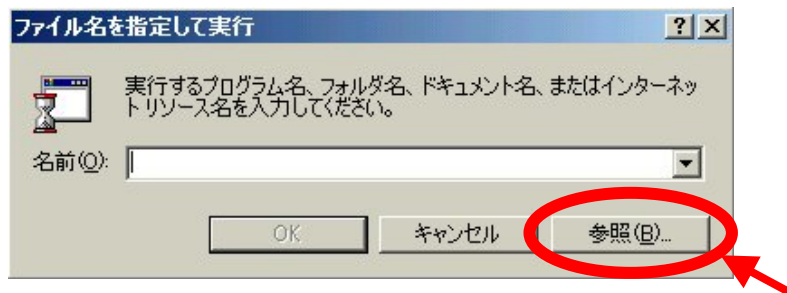


図1.2-13

- (3) ファイルの場所(L)ダイアログボックスから "ローカルディスク (D:)" を選択してください。
"SWM-JC001M_Vxxx" - "Win95"フォルダを選択してください。

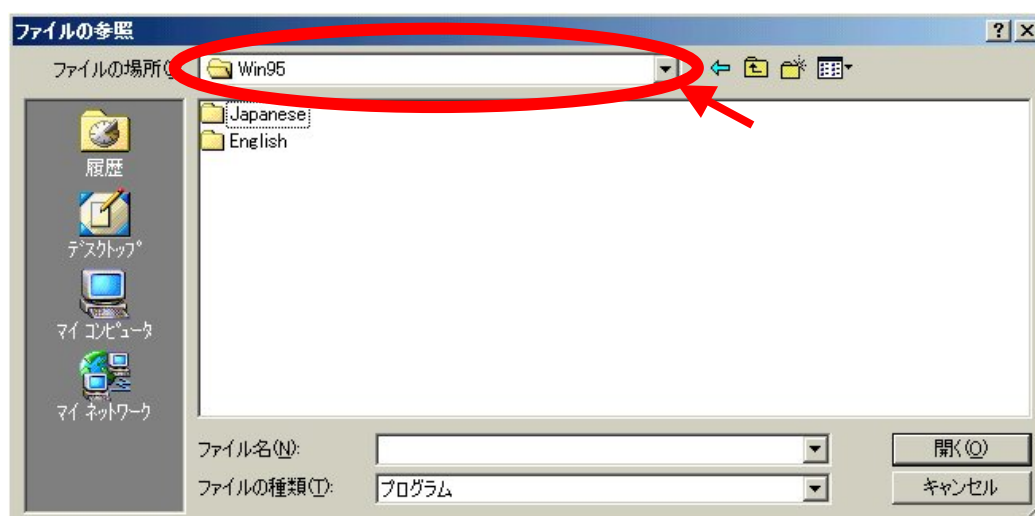


図1.2-14

- (4) "Japanese"フォルダを選択してください。
セットアップファイル"setup.exe"を選択し, [開く(O)]ボタンをクリックしてください。

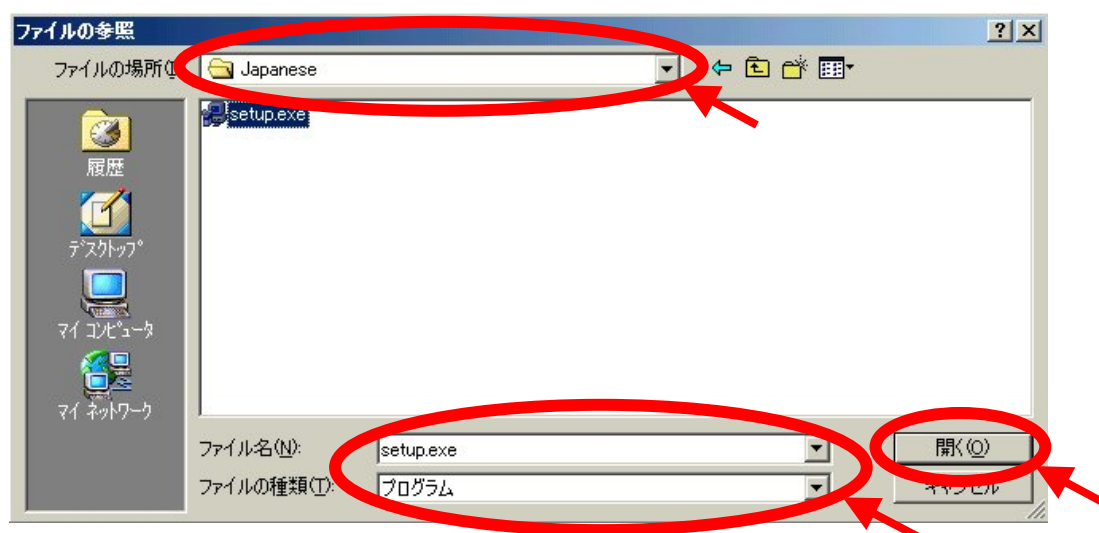


図1.2-15

- (5) [OK]ボタンをクリックしてください。
SWM-JC001M_Vxxx セットアップウィザードを表示します。

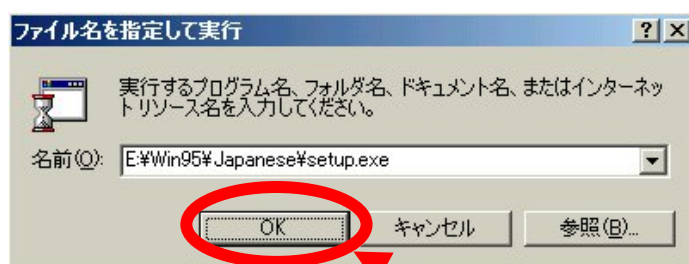


図1.2-16

(6) セットアップファイルをコピーしている間、以下のような画面を表示します。

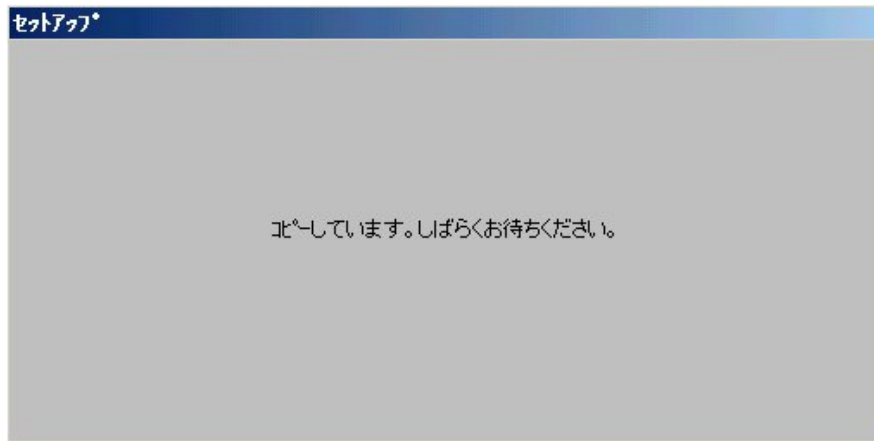


図1.2-17

(7) [OK] ボタンをクリックしてください。

インストールを中止、終了したい場合、[終了(X)] ボタンをクリックしてください。

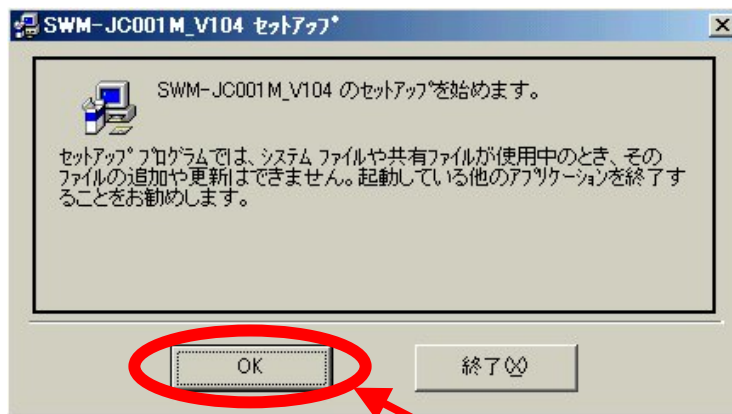


図1.2-18

(8) インストール先のドライブ名とフォルダ (ディレクトリ) 名を確認してください。

最初は"C:\Program Files\SWM-JC001M_Vxxx\" にインストールするよう指定されています。

上記インストール先でよければ、アイコンボタンをクリックしてください。

インストール先を変更したい場合、[ディレクトリ変更(C)] ボタンをクリックしてください。

インストールを中止、終了したい場合、[終了(X)] ボタンをクリックしてください。

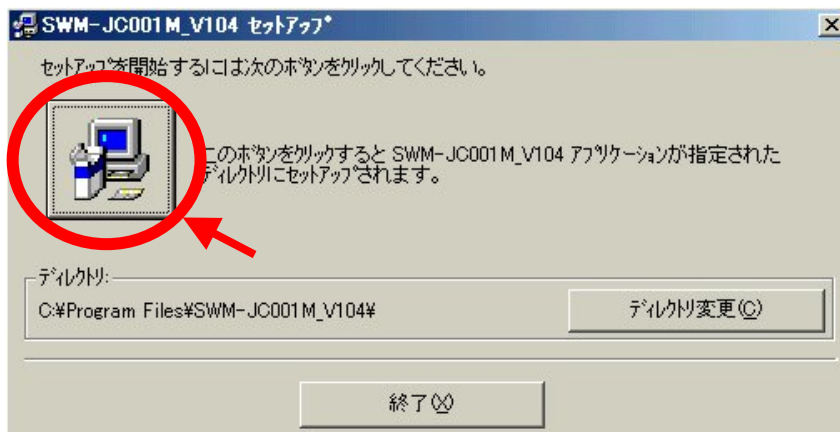


図1.2-19

インストール先の変更画面

ドライブ名とフォルダ(ディレクトリ)名を指定し, [OK]ボタンをクリックしてください。
何の操作もせず, 前画面に戻りたい場合, [キャンセル]ボタンをクリックしてください。

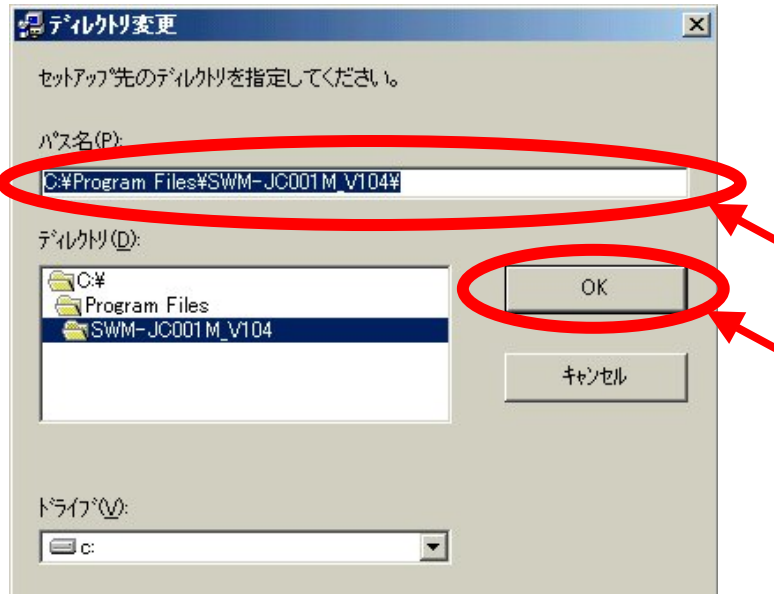


図1.2-20

(9) モニタソフトのプログラムグループを選択してください。

最初は"SHINKO TECHNOS"グループに指定されています。

上記グループでよければ, [継続(C)]ボタンをクリックしてください。

グループ名を変更したい場合, 新しいグループ名を入力するか, 既存のグループリストから選択してください。

インストールを中止, 終了したい場合, [キャンセル]ボタンをクリックしてください。

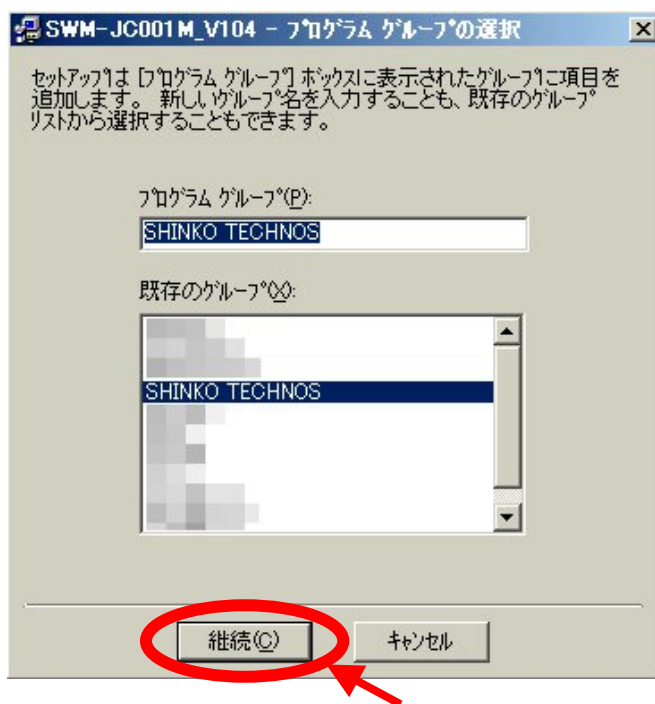


図1.2-21

(10) ファイルをコピーする状況をバーグラフで表示します。

インストールを中止する場合、[キャンセル]ボタンをクリックしてください。



図1.2-22

(11) インストールが完了すると、以下の画面を表示します。

[OK]ボタンをクリックしてください。



図1.2-23

・インストール中のエラーメッセージについて

インストール中、以下の画面を表示することがあります。

これはインストールファイルに含まれているシステムファイルが、パソコンのシステムファイルより古い、または同じ日付のため表示するエラーメッセージです。

[はい(Y)]ボタンをクリックしてください。

インストールを続けます。

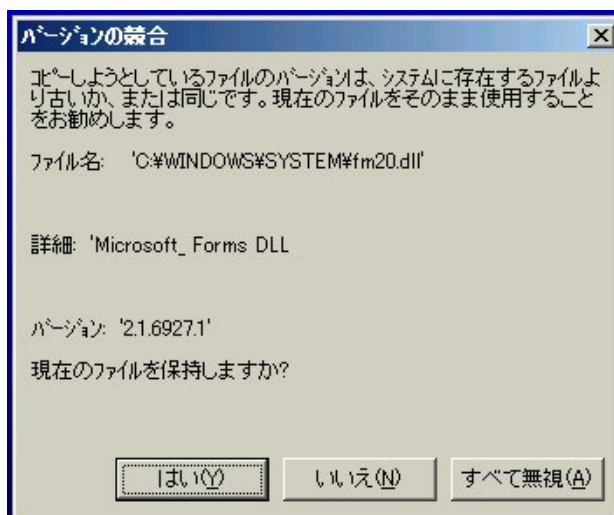


図1.2-24

1.3 アンインストール手順

ハードディスクから、モニタソフトの関連ファイルを削除する手順について説明します。

(1) スタートメニューから、[設定(S)]-[コントロールパネル(C)]を選択しクリックしてください。

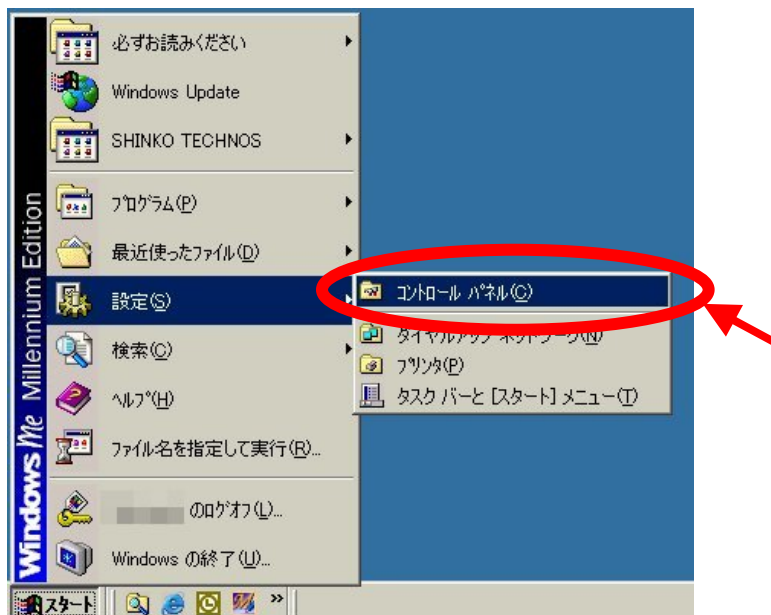


図1.3-1

(2) [アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックしてください。

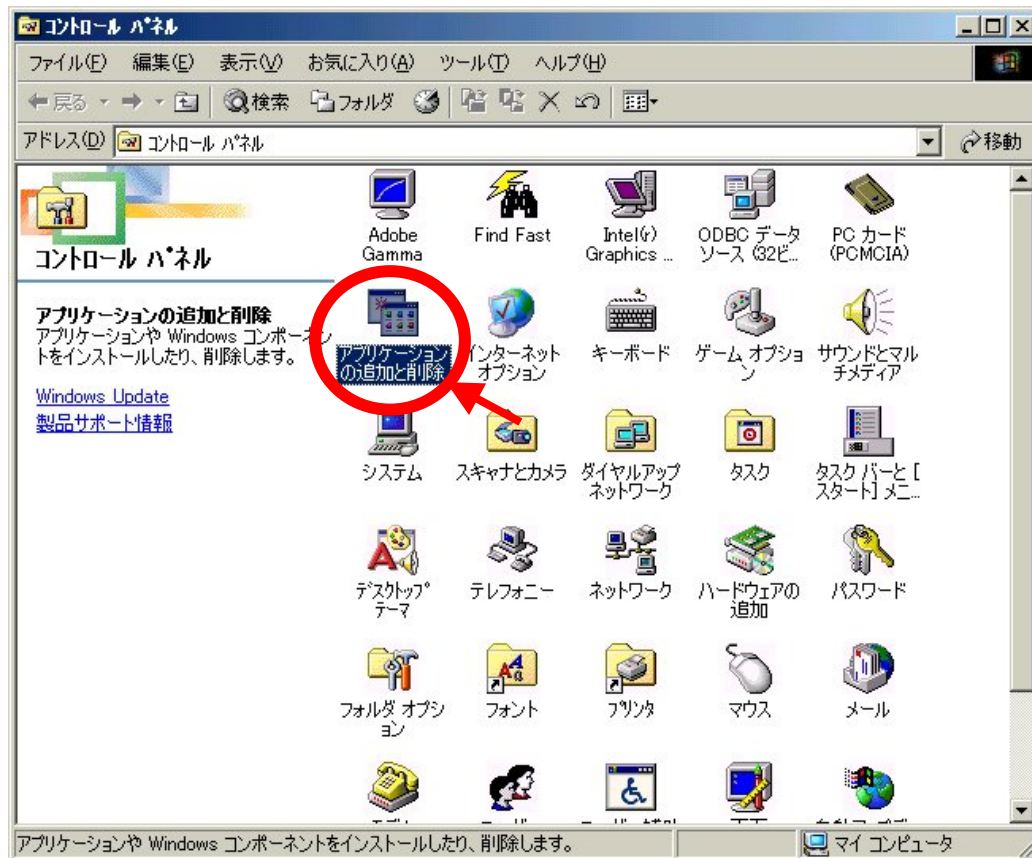


図1.3-2

- (3) アプリケーションのリストで“SWM-JC001M_Vxxx”をクリックまたはカーソルで選択して[追加と削除(R)]ボタンをクリックしてください。

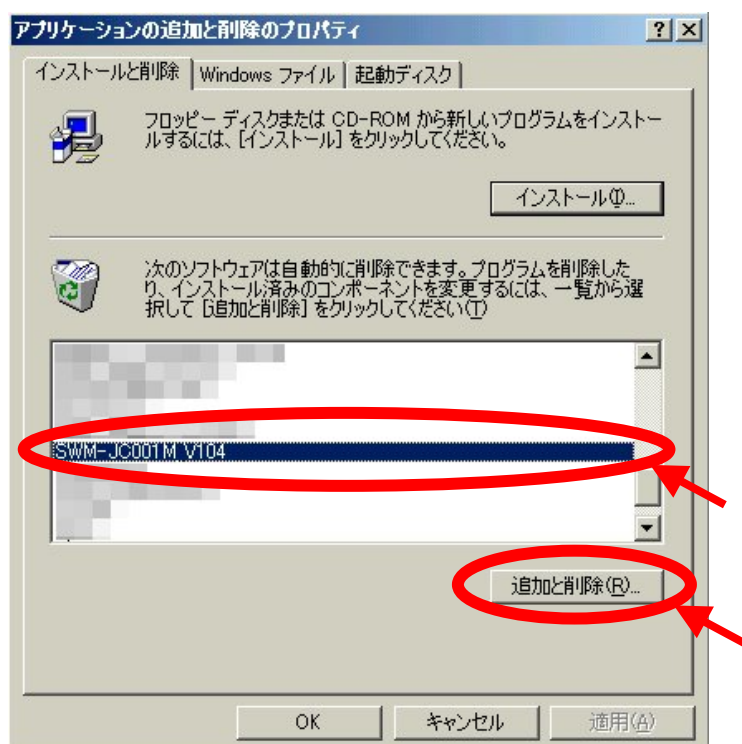


図1.3-3

- (4) 削除の確認ダイアログを表示します。

[Remove SWMJC001M_Vxxx]を選択し、[Finish]ボタンをクリックしてください。

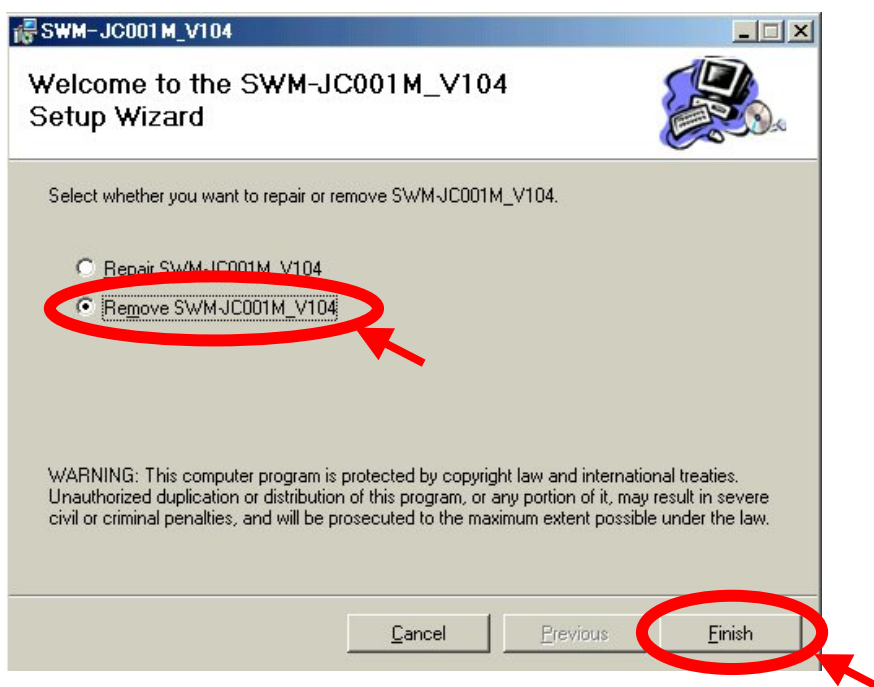


図1.3-4

(5) アンインストールの状況をバーグラフで表示します。

アンインストールを中止する場合、[Cancel]ボタンをクリックしてください。

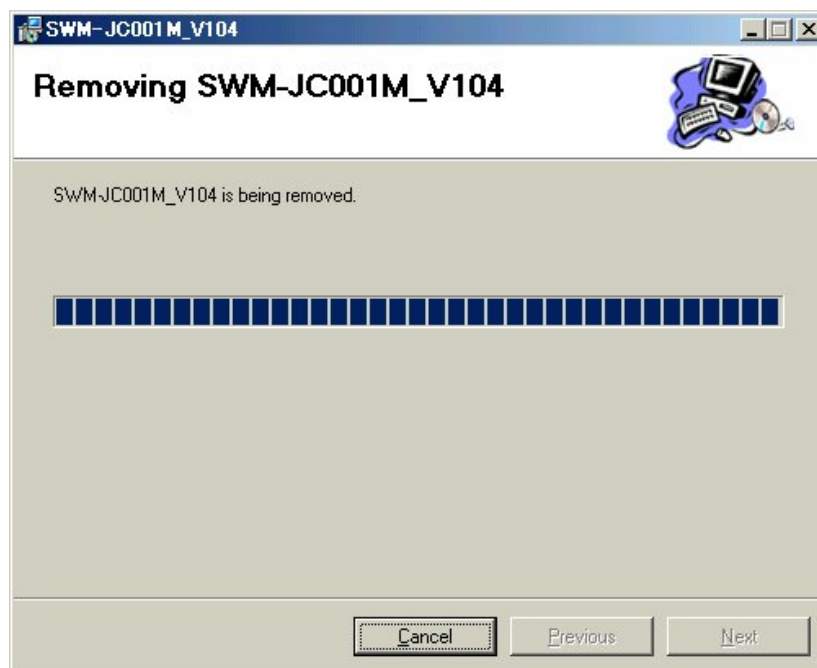


図1.3-5

(6) アンインストールが正常に終了した場合、以下の画面を表示します。

[Close]ボタンをクリックしてください。

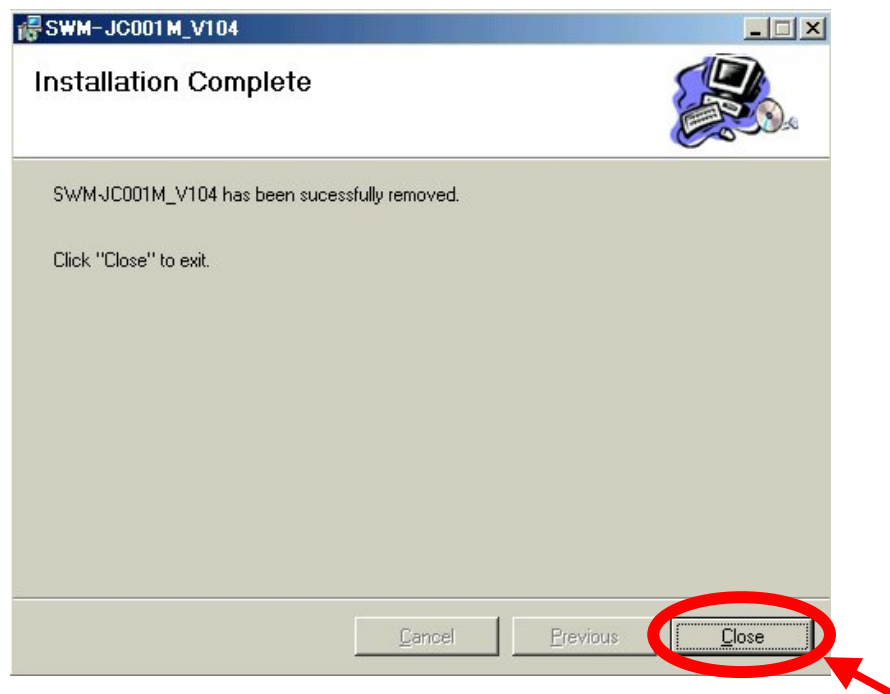


図1.3-6

2.2 モニタソフトの起動

(1) パソコンの通信ポートに通信ケーブルが接続されていることを確認してください。

Windows Me/2000/XPの場合

スタートメニューから[SHINKO TECHNOS] - [Shortcut to SWM-JC001M_Vxxx.exe]を選択しクリックしてください。

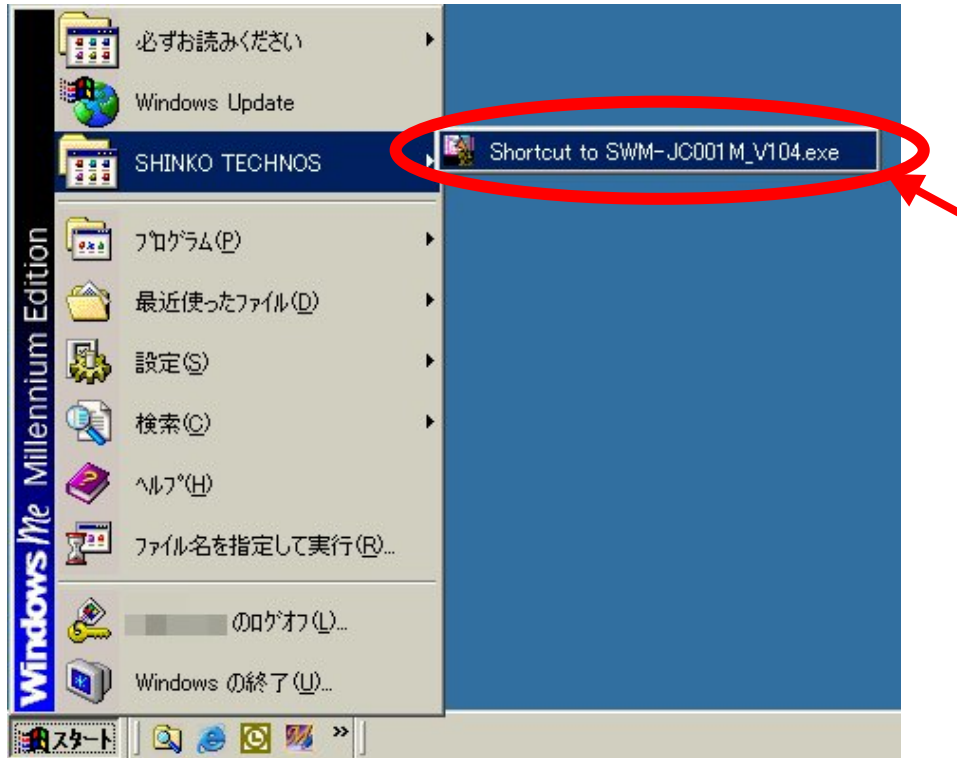


図2.2-1

Windows 95/98/NT4.0の場合

スタートメニューから[プログラム(P)] - [SHINKO TECHNOS] - [SWM-JC001M_Vxxx.exe]を選択しクリックしてください。

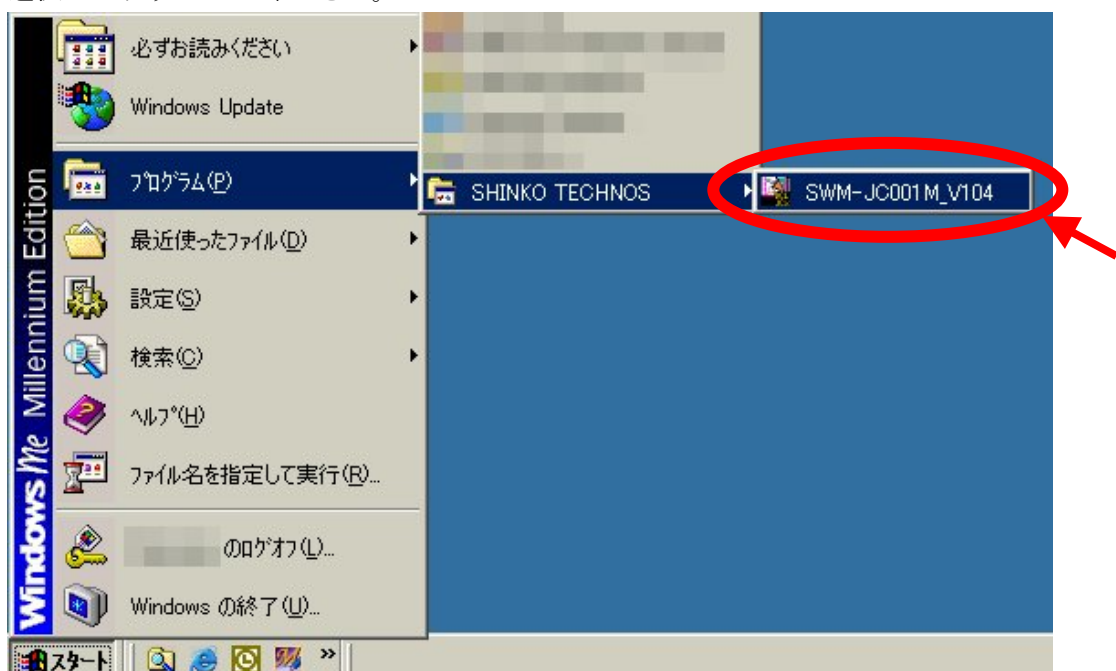


図2.2-2

(2) モニタソフトオープニング画面を表示し、JCx-33A(DCL-33A)のデータを読み込みます。

通信条件設定画面を表示した場合、通信ポートおよび通信速度を選択し、[OK]ボタンをクリックしてください。

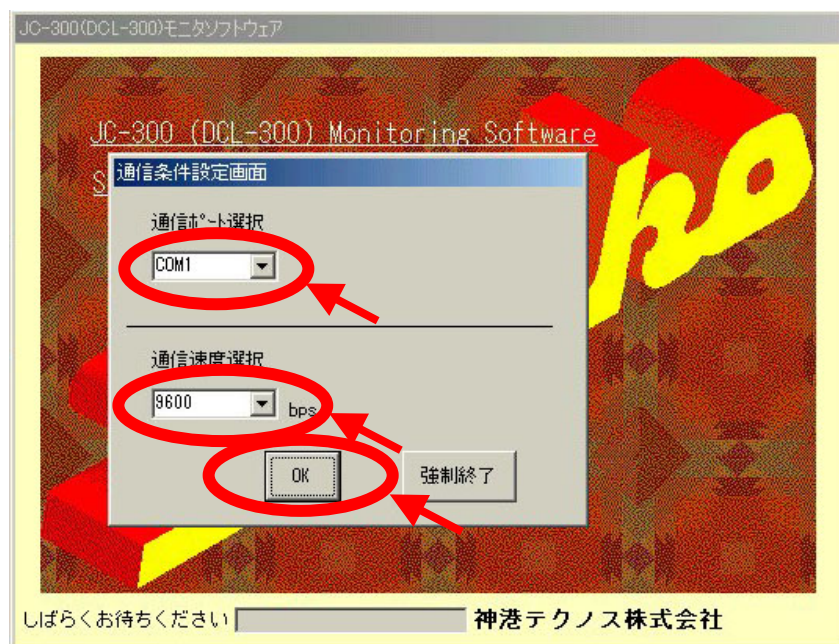


図2.2-3

(3) モニタソフトが起動します。

メイン画面

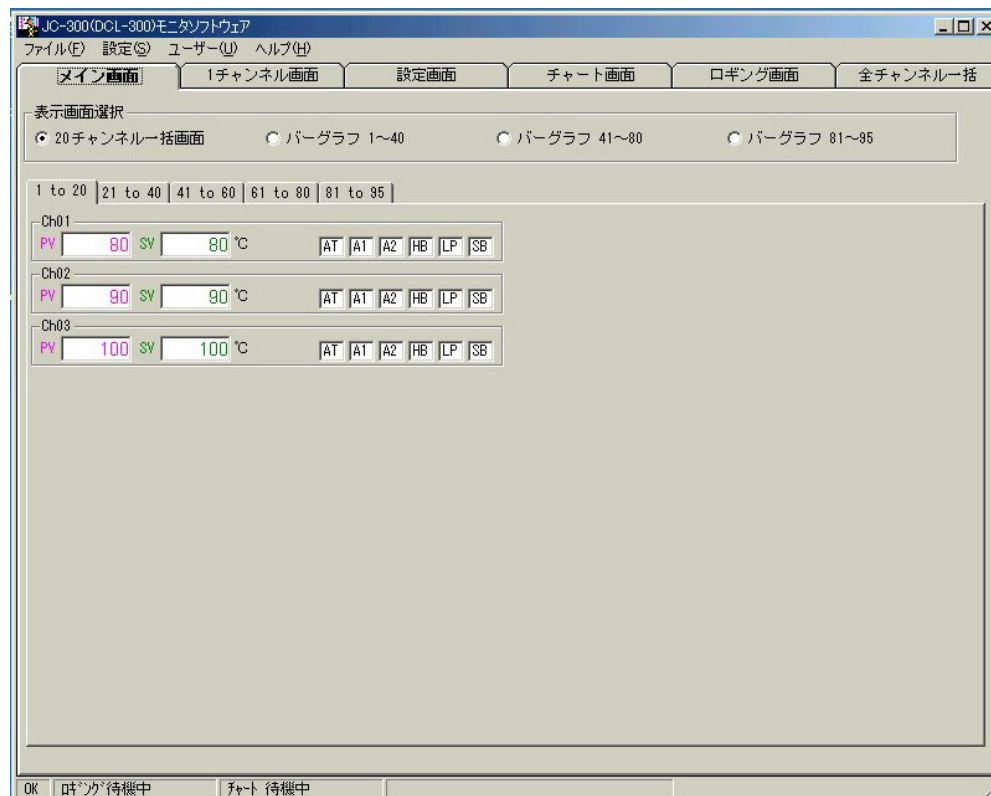


図2.2-4

2.3 モニタソフトの画面および操作

2.3.1 画面の切り替え

タブをクリックすると画面を切り替えることができます。

(1) メイン画面

最大95チャンネル分の機器のPV値，SV値，アラーム状態を20チャンネル毎にモニタする画面です。接続台数分だけを表示します。

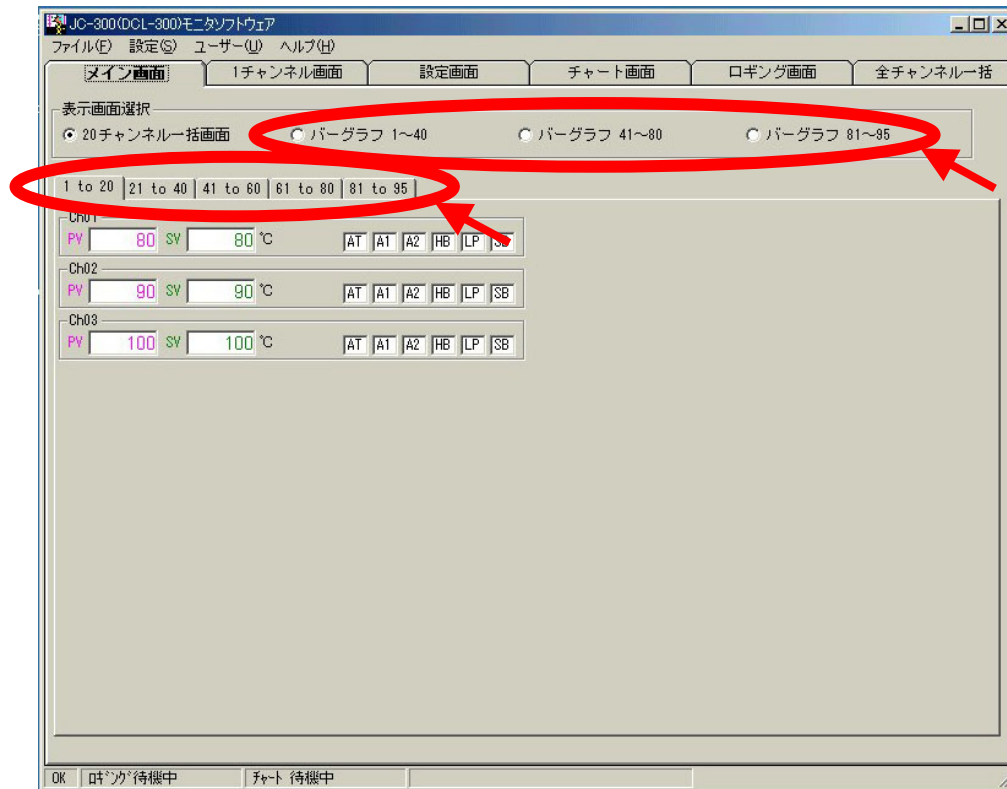


図2.3.1-1

操作説明

表示チャンネル切り替えタブをクリックすると20チャンネル毎に切り替えることができます。

- [1 to 20]タブ : 機器番号0～19に設定されている機器のデータを表示します。
- [21 to 40]タブ : 機器番号20～39に設定されている機器のデータを表示します。
- [41 to 60]タブ : 機器番号40～59に設定されている機器のデータを表示します。
- [61 to 80]タブ : 機器番号60～79に設定されている機器のデータを表示します。
- [81 to 95]タブ : 機器番号80～94に設定されている機器のデータを表示します。

- ☐ バーグラフ 1 ～ 40 : ☐ をクリック(☒)すると、機器番号0～39に設定されている機器のバーグラフ表示画面に切り替わります。
- ☐ バーグラフ 41 ～80 : ☐ をクリック(☒)すると、機器番号40～79に設定されている機器のバーグラフ表示画面に切り替わります。
- ☐ バーグラフ 81 ～95 : ☐ をクリック(☒)すると、機器番号80～94に設定されている機器のバーグラフ表示画面に切り替わります。

バーグラフ表示画面

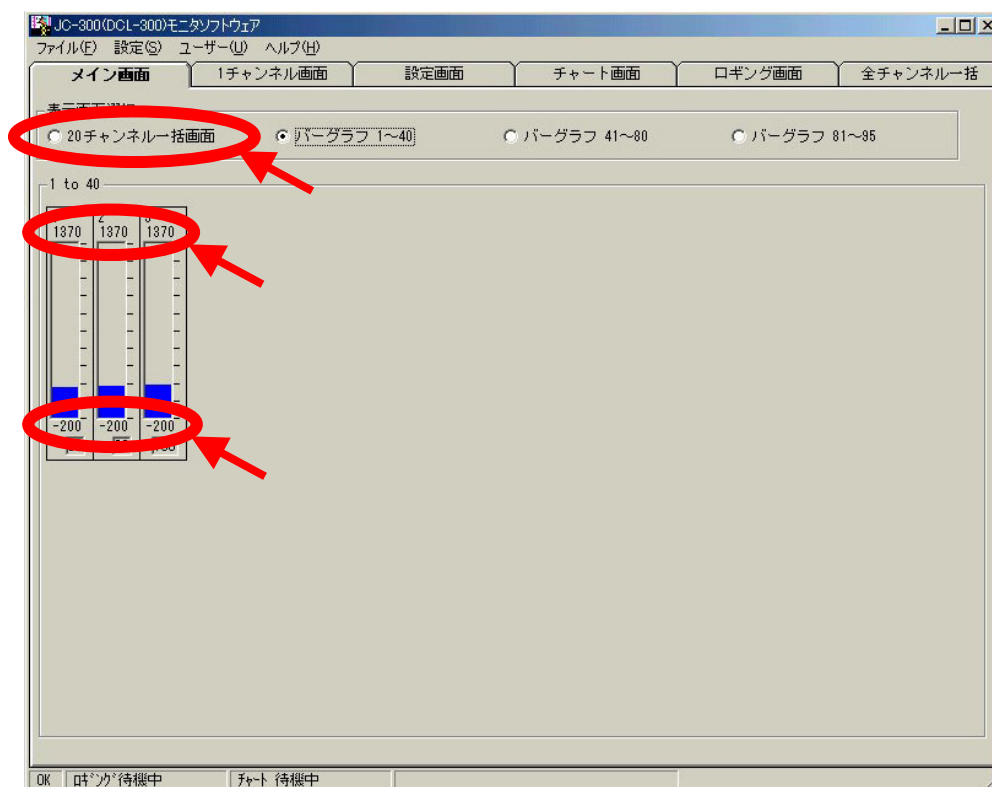


図2.3.1-2

バーグラフ表示は、上からチャンネル番号、スケーリング上限値、バーグラフ、スケーリング下限値、PV値を表示します。バーグラフの色は、次のようになります。

青: 正常時。

赤: 警報1, 警報2, ヒータ断線警報, ループ異常警報, センサ断線警報, オーバスケール, アンダスケールのいずれか出力時。
警報が解除されると青色に切り替わります。

操作説明

をクリック()すると、40チャンネル毎に切り替えることができます。
機器が接続されていない場合、何も表示しません。

- バーグラフ 1 ~ 40 : をクリック()すると、機器番号0~39に設定されている機器のバーグラフ表示画面に切り替わります。
- バーグラフ 41 ~ 80 : をクリック()すると、機器番号40~79に設定されている機器のバーグラフ表示画面に切り替わります。
- バーグラフ 81 ~ 95 : をクリック()すると、機器番号80~94に設定されている機器のバーグラフ表示画面に切り替わります。

20チャンネル一括画面 : をクリック()すると、メイン画面に切り替わります。

バーグラフ上の設定 : バーグラフ上の値をマウスで左クリックすると、設定値上限、下限またはスケーリング上限、下限が変更できます。
JCx-300でDC入力およびDCL-300の場合、スケーリング上限、下限設定値の変更になります。
JCx-300でDC入力以外の場合、設定値上限、下限設定値の変更になります。

(2) 1 チャンネル画面

表示チャンネル名選択で選択した機器1台をモニタする画面です。

接続されている機器がJCx-33Aの場合、OUT/OFFキー機能選択(キー操作)によりボタン表示が異なります。

OUT/OFF機能を選択した場合、[制御OUT/OFF]ボタンボタンを表示します。

自動/手動制御機能を選択した場合、[オート/マニュアル]ボタンを表示します。

冷却出力操作量(MV)、警報2情報、ヒータ断線警報情報、ループ異常警報情報はオプションが付加されていない場合表示しません。

接続されている機器がDCL-33Aの場合、OUT/OFF機能が無い為[制御OUT/OFF]ボタンまたは[オート/マニュアル]ボタンは表示しません。

また、冷却出力操作量(MV)、警報2情報もオプション仕様に無い為表示しません。

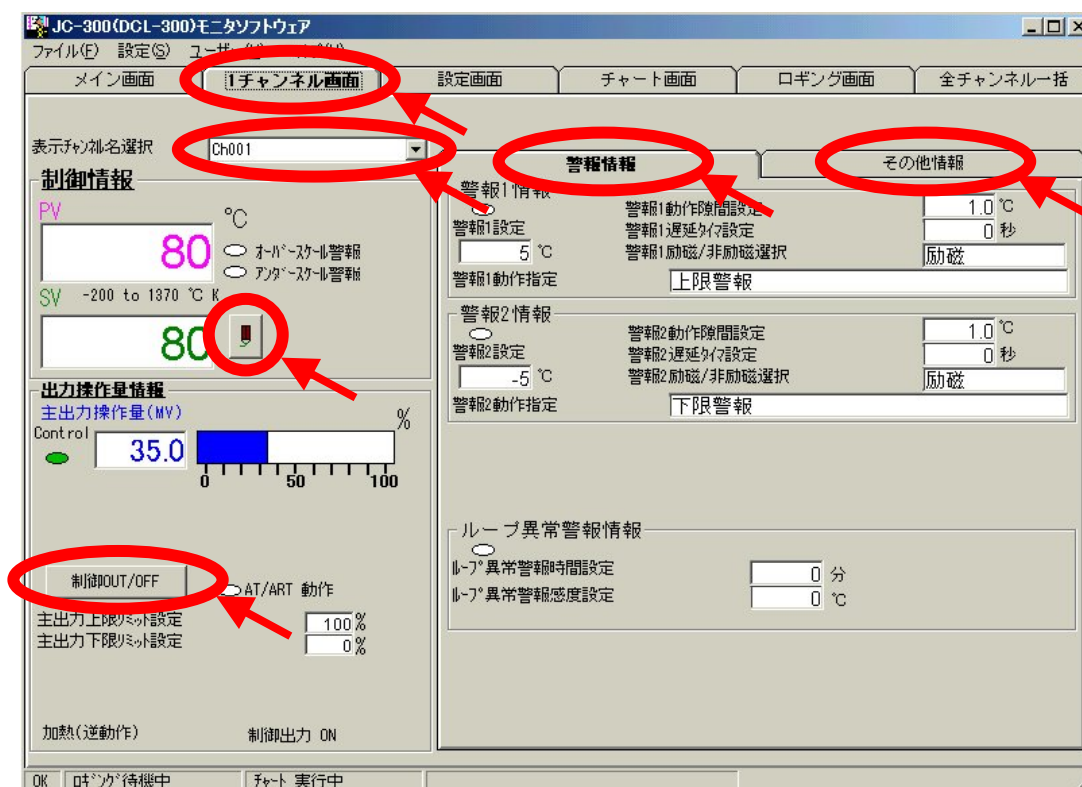


図2.3.1-3

操作説明

[表示チャンネル名選択] : ▼ボタンをクリックし、表示したいチャンネルを選択してください。

機器が接続されていないチャンネルを選択した場合、「このチャンネルには計器が接続されていません」とのメッセージを表示します。

[SV設定]ボタン : このボタンをクリックすると、テンキーボードを表示します。SV設定値を入力し、[OK]ボタンをクリックしてください。

[制御OUT/OFF]ボタン : 制御実行中このボタンをクリックすると、制御出力OFF機能がはたらき、全ての出力をOFFにします。再度クリックすると、制御出力OFF機能を解除し、制御実行状態に戻ります。

[オート/マニュアル]ボタン: 自動(オート)制御実行中このボタンをクリックすると、手動(マニュアル)制御になります。

[+10.0], [+1.0], [+0.1], [-0.1], [-1.0], [-10.0]ボタンをクリックし、操作量(MV値)を設定してください。
 手動(マニュアル)制御実行中このボタンをクリックすると、自動(オート)制御になります。

- [警報情報]タブ : 警報1, 警報2, ヒータ断線警報, ループ異常警報などの情報を表示します。
- [その他情報]タブ : 設定値ロック, P, I, D, ARW, 比例周期などの情報を表示します。

(3) 設定画面

20チャンネル毎の各設定値を設定する画面です。
 機器が接続されていないチャンネルは、「未接続のチャンネル」と表示されます。

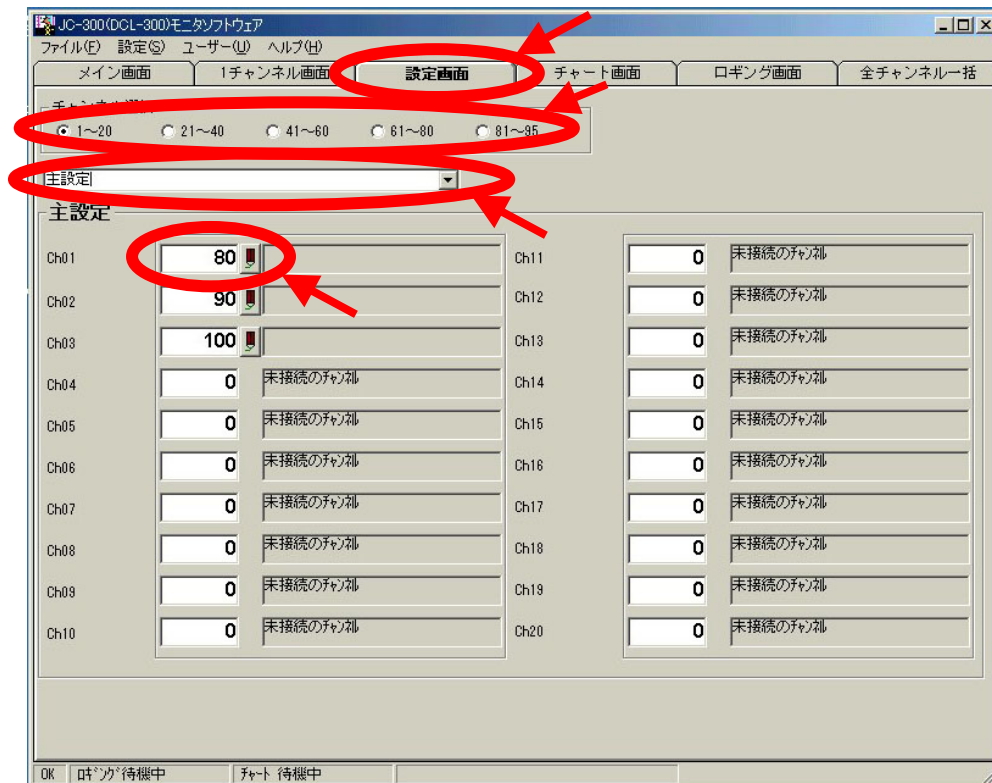


図 2.3.1-4

操作説明

- 1 ~ 20 : をクリック()すると、機器番号0~19に設定されている機器の設定値を表示します。
- 21 ~ 40 : をクリック()すると、機器番号20~39に設定されている機器の設定値を表示します。
- 41 ~ 60 : をクリック()すると、機器番号40~59に設定されている機器の設定値を表示します。
- 61 ~ 80 : をクリック()すると、機器番号60~79に設定されている機器の設定値を表示します。
- 81 ~ 95 : をクリック()すると、機器番号80~94に設定されている機器の設定値を表示します。

[設定項目名選択]: ▼ボタンをクリックし、設定したい設定項目を選択してください。

[設定]ボタン : このボタンをクリックすると、テンキーボードまたは選択画面を表示します。

設定値を入力または選択し、[OK]ボタンをクリックしてください。

(4) チャート画面

チャートを表示する画面です。

チャート表示できる点数は最大95点で、制御入力値(PV)、主設定(SV)の中から選択できます。

チャート描写条件設定を行わないと、チャート表示を開始できません。

チャート表示停止後、再度開始するとチャート画面をクリアして再描写となります。

チャート実行中モニタソフトを終了した場合、次回起動時自動的にチャート表示を開始します。

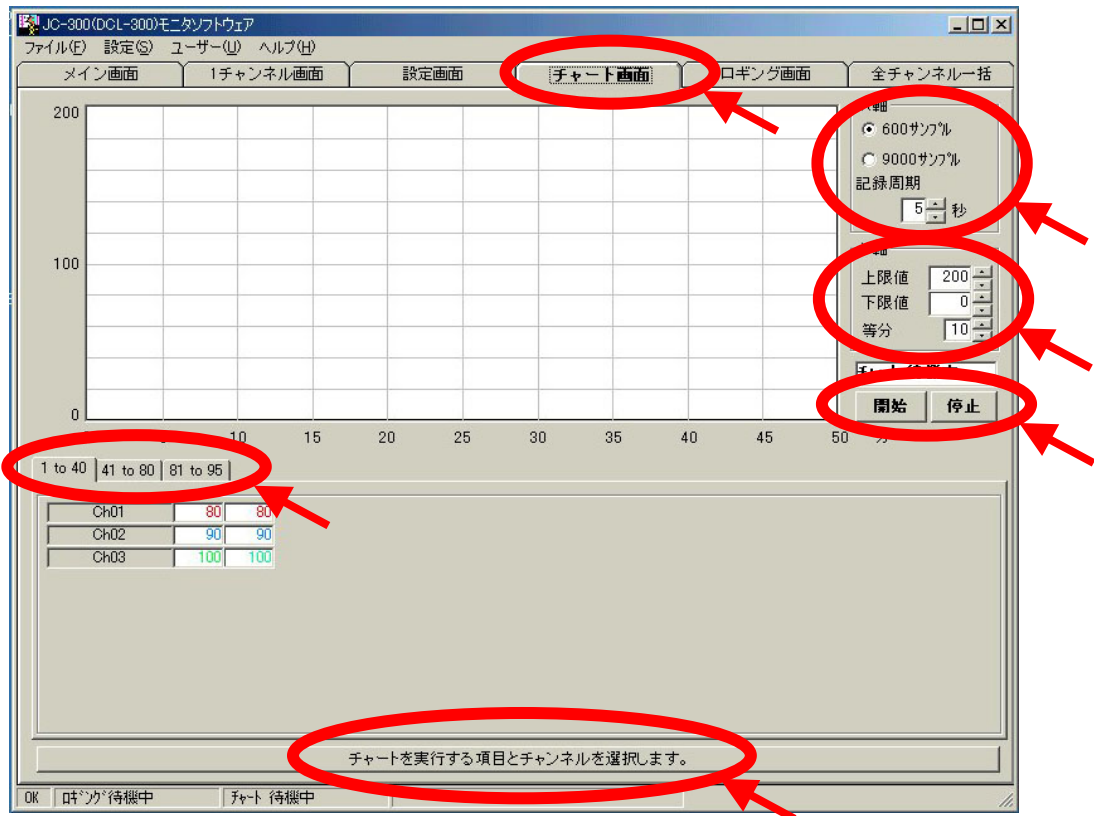


図 2.3.1-5

操作説明

- [X軸]設定項目 : サンプル数を選択、記録周期(1～60秒)を設定してください。
例えば、サンプル数を600、記録周期を5秒とすると、3000秒となり、
X軸の表示は0～50分になります。
- [Y軸]設定項目 : チャート表示の上限値、下限値および等分を設定してください。
- [開始]ボタン : このボタンをクリックすると、チャート表示を開始します。
- [停止]ボタン : このボタンをクリックすると、チャート表示を停止します。
- [1 to 40]タブ : 機器番号0～39に設定されている機器のデータを表示します。
- [41 to 80]タブ : 機器番号40～79に設定されている機器のデータを表示します。
- [81 to 95]タブ : 機器番号80～94に設定されている機器のデータを表示します。
- [チャートを実行する項目とチャンネルを選択します。]ボタン:
このボタンをクリックすると、チャート描写条件設定画面に移行します。

チャート描写が終了した場合、以下の画面を表示します。



図 2.3.1-6

(5) チャート描写条件設定画面

チャートを実行する項目とチャンネル番号，チャートの色など描写条件を表示する画面です。
チャート描写条件設定を行わないと，チャートを開始できません。

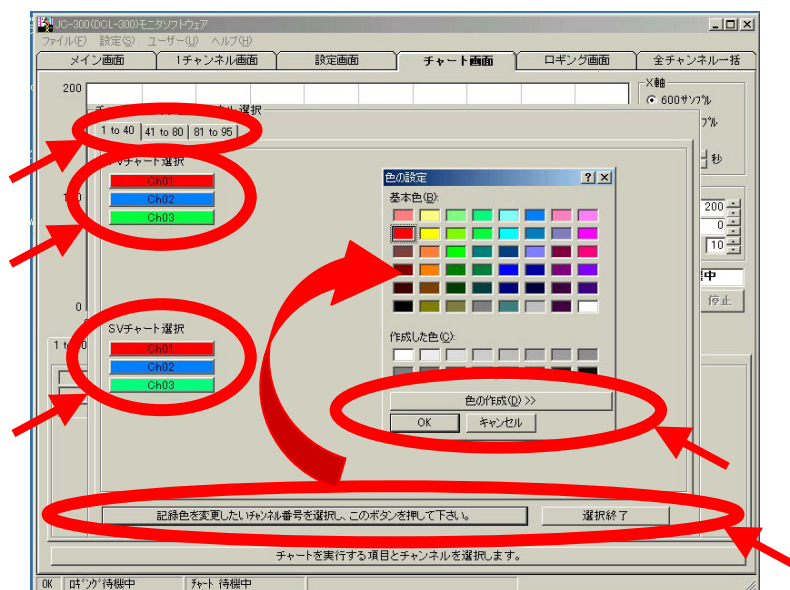


図2.3.1-7

操作説明

- [1 to 40]タブ : 機器番号0~39に設定されている機器のチャート描写条件を設定します。
- [41 to 80]タブ : 機器番号40~79に設定されている機器のチャート描写条件を設定します。
- [81 to 95]タブ : 機器番号80~94に設定されている機器のチャート描写条件を設定します。
- [Chxx]ボタン : PV, SVそれぞれ表示させたいチャンネルを選択してください。
- [記録色を変更したいチャンネル番号を選択し、このボタンを押して下さい。]ボタン : このボタンをクリックすると，色の設定画面が表示されます。
- [選択終了]ボタン : このボタンをクリックすると，チャート描写条件設定を終了し，チャート画面に戻ります。

色の設定画面

- [色の作成(D)]ボタン : このボタンをクリックすると，任意の色を作成し追加できます。
- [OK]ボタン : このボタンをクリックすると，色を設定し画面を閉じます。
- [キャンセル]ボタン : このボタンをクリックすると，色を設定せずに画面を閉じます。

チャート実行例

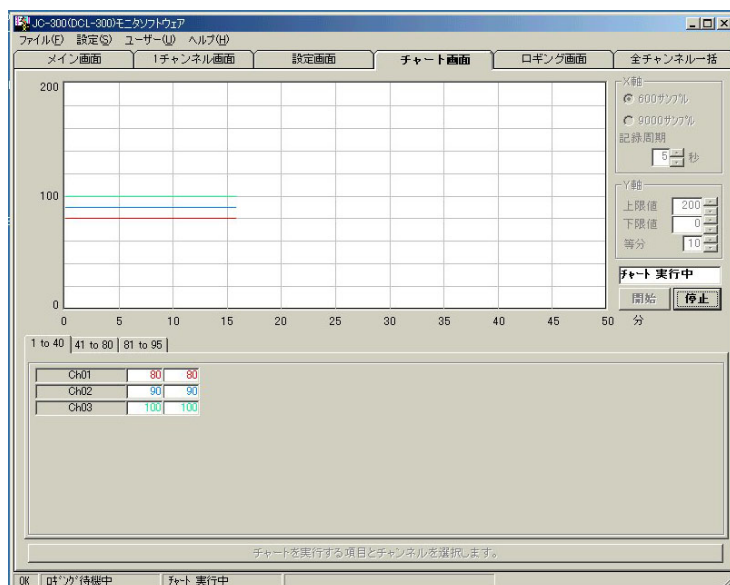


図2.3.1-8

(6) ロギング画面

データロギング条件を設定する画面です。

データロギング保存先を設定しないと、データロギングを開始できません。

[参照] ボタンをクリックしてファイル名を入力してください。

ただし、継続してデータ保存にチェックが入っていると、データロギングを開始した日時(西暦_月_日_時_分_秒.csv)で自動的にファイルを作成し、インストール先の logging フォルダ内に保存します。

[開始] ボタンをクリックすると、データロギング時間毎に選択したチャンネルのPV値をファイルに保存します。

保存したデータは、Microsoft Excel など市販の表計算ソフトウェアで編集が行えます。

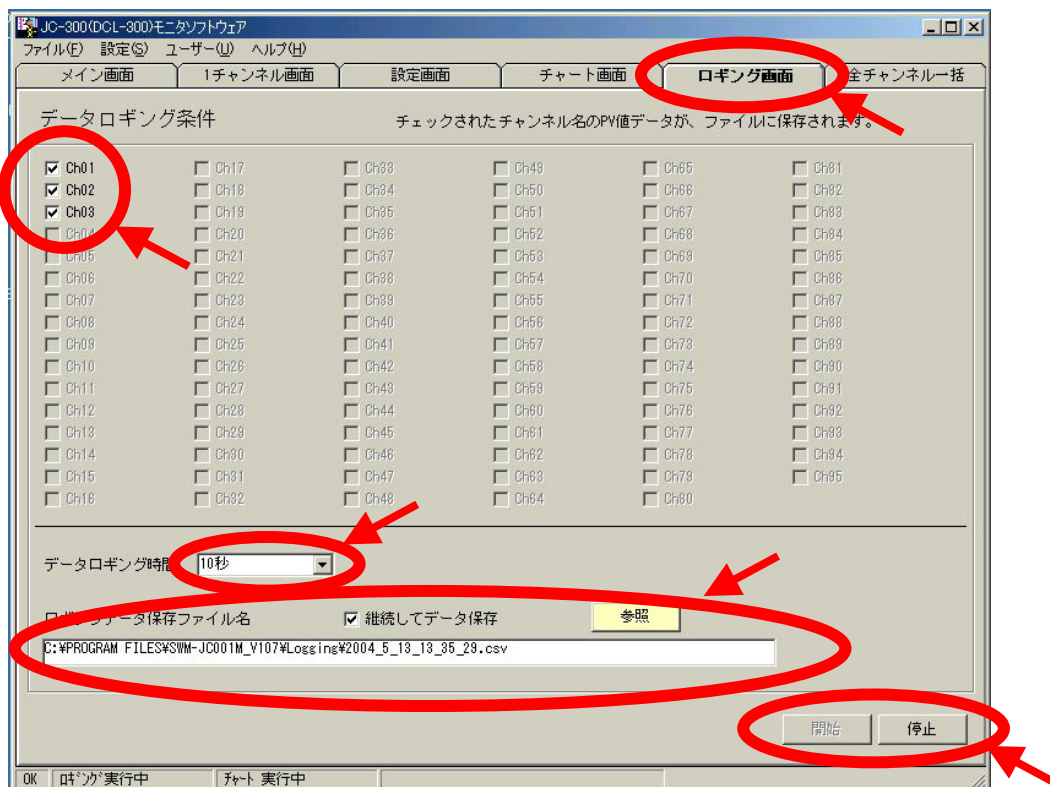


図2.3.1-9

操作説明

- [Ch01～95] 選択項目 : チャンネル横の□をクリック(チェック)し、データロギングしたいチャンネルを選択してください。
- [データロギング時間] 選択項目 : ▼ボタンをクリックし、データロギング時間を選択してください。
- ☐ 継続してデータ保存 : ☐ をクリック(チェック)し、データロギングを開始すると、前回と同じファイルに追加保存します。チェックを外し、データロギングを開始すると、新規にファイルを開き保存します。
- [参照] ボタン : ファイル名を変更したい場合、このボタンをクリックしてください。
「ファイルを開く」ダイアログボックスが開きます。ファイルを選択し、[開く(O)] ボタンをクリックしてください。
- [開始] ボタン : このボタンをクリックすると、データロギングを開始します。
- [停止] ボタン : このボタンをクリックすると、データロギングを停止します。

モニタソフト起動時のオートスタートについて

データロギング実行中のままモニタソフトを終了した場合、モニタソフト起動時自動的にデータロギングを開始します。

継続してデータ保存にチェックが入っているか、いないかでファイルへの保存方法が異なります。

- ・継続してデータ保存にチェックが入っている場合

前回と同じファイルに追加保存します。

- ・継続してデータ保存にチェックが入っていない場合

前回と同じファイルに上書きを行うかどうか確認画面を表示します。

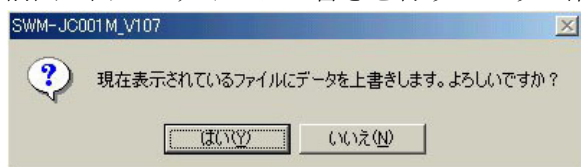



図2.3.1-10

[はい(Y)] ボタンをクリックすると、前回と同じファイルに上書き保存します。



注 意

上書き保存すると、前回のデータを全て消去します。
消去したくない時は、新規にファイルを指定してください。

[いいえ(N)] ボタンをクリックすると、以下の画面を表示します。

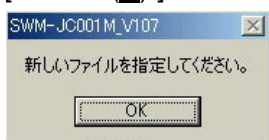


図2.3.1-11

[OK] ボタンをクリックすると、以下の画面を表示します。

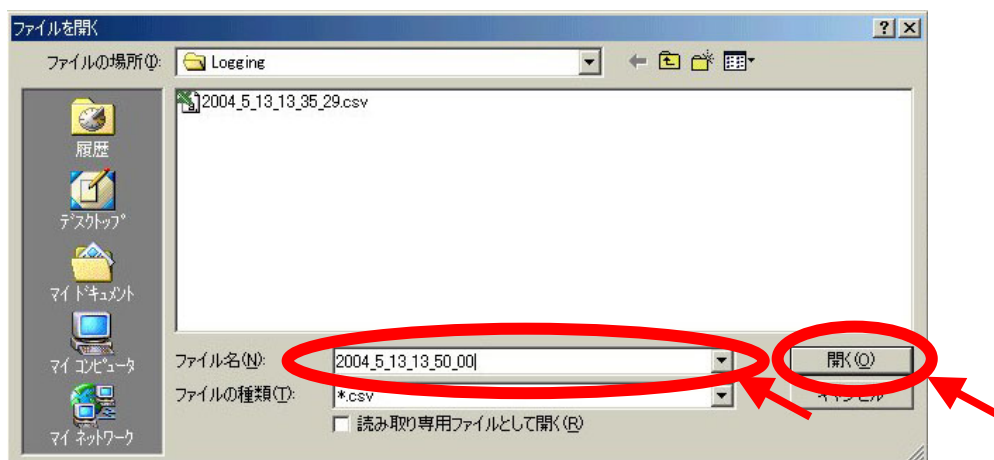


図2.3.1-12

新しいファイル名を入力し、[開く(O)] ボタンをクリックしてください。
入力したファイルに保存します。

(7) 全チャンネル一括設定画面

接続されている全ての機器に転送するデータを設定する画面です。
画面上の設定値をファイルにセーブ(保存)またはファイルからロード(読み込み)を行えます。

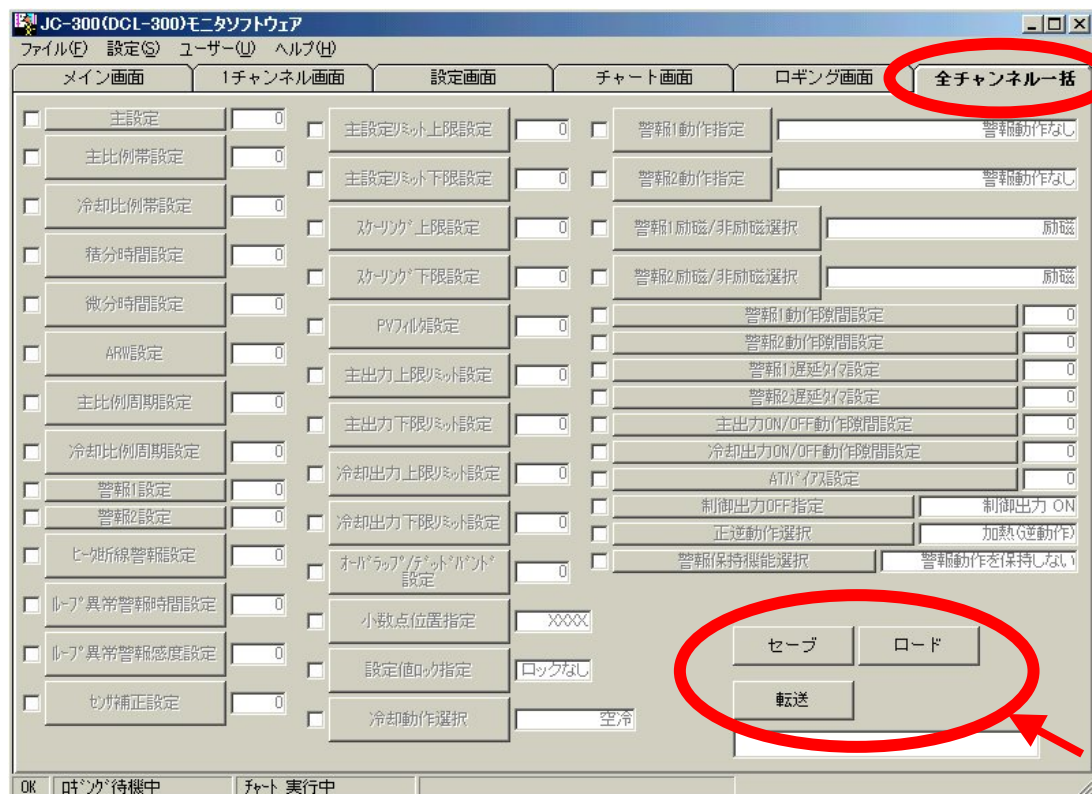


図2.3.1-13

操作説明

☐ 各設定／選択項目 : ☐をクリック(チェック)し、転送する項目を選択してください。
チェックを付けると各設定／選択項目ボタンが有効になり、設定／選択ができるようになります。

各設定／選択項目ボタン : このボタンをクリックすると、テンキーボードまたは選択画面が表示されます。
設定値を入力または選択し、[OK]ボタンをクリックしてください。

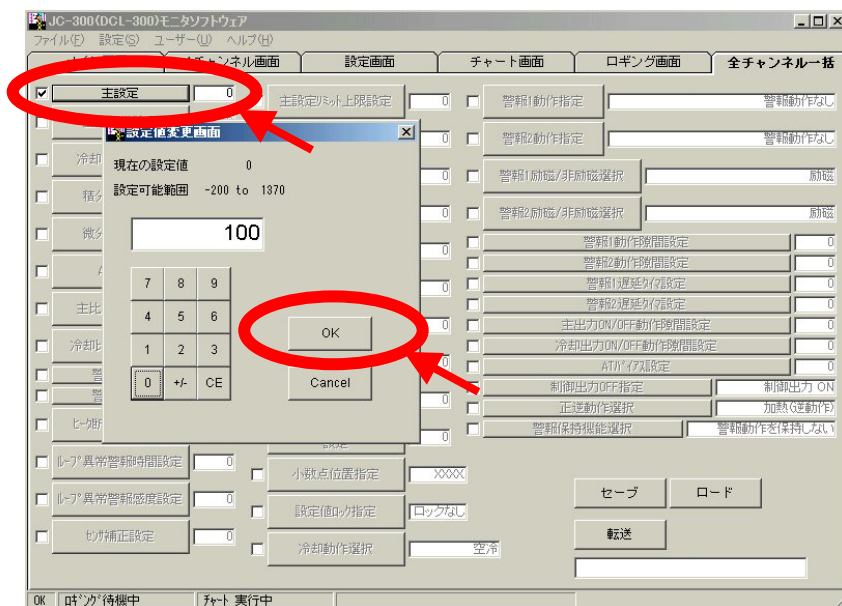


図2.3.1-14 (例) 主設定値設定テンキーボード

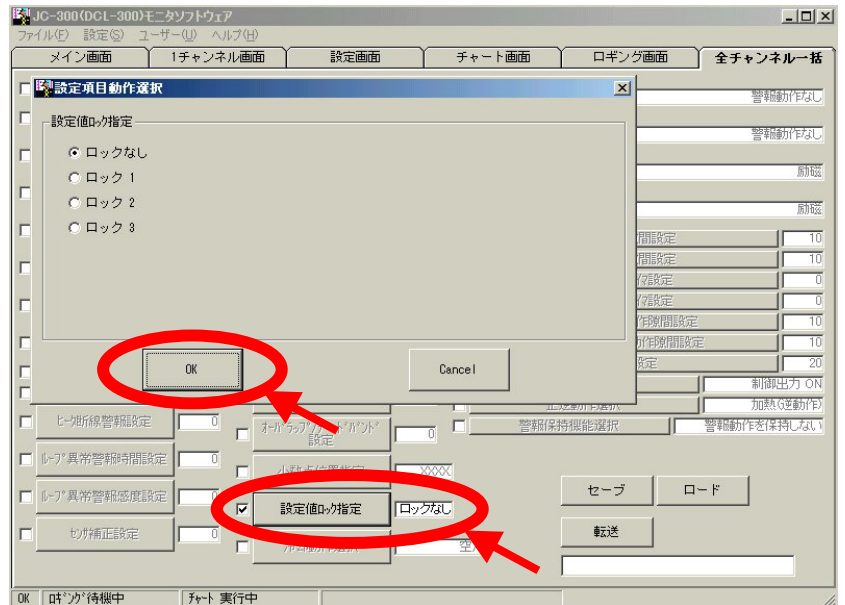


図2.3.1-15 (例)設定値ロック指定選択画面

[セーブ]ボタン

: このボタンをクリックすると、「名前を付けて保存」ダイアログボックスが開きます。

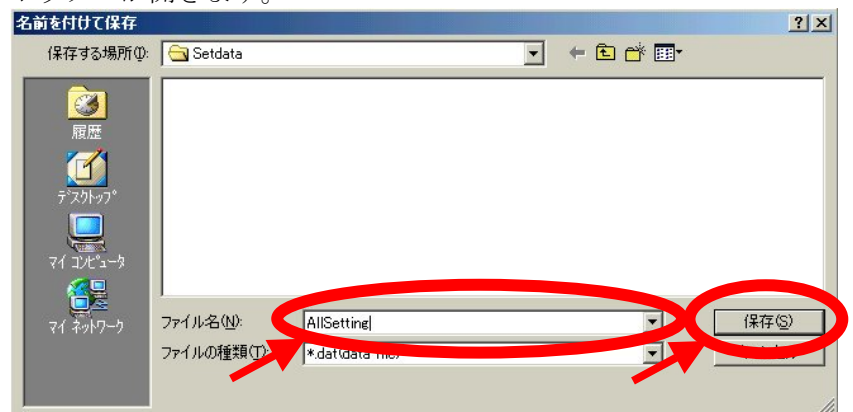


図2.3.1-16

ファイル名を入力し，[保存(S)]ボタンをクリックしてください。
画面上のデータをインストール先の Setdataフォルダ内ファイルに保存します。

[ロード]ボタン

: このボタンをクリックすると、「この画面のデータに上書きされます。よろしいですか？」という確認画面が表示されます。

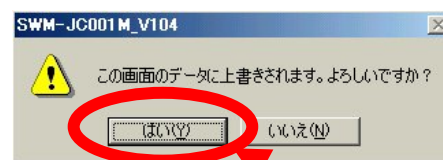


図2.3.1-17

[はい(Y)]ボタンをクリックすると、「ファイルを開く」ダイアログボックスが開きます。

[いいえ(N)]ボタンをクリックすると、ロードを取り消し確認画面を閉じます。

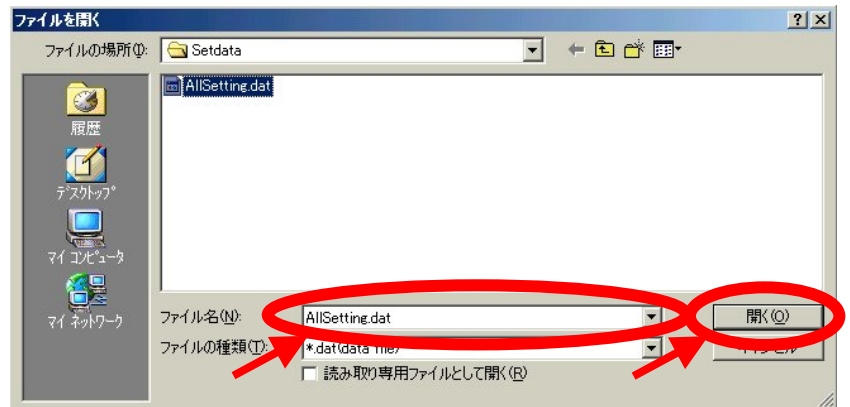


図2.3.1-18

ファイルを選択し、[開く (O)] ボタンをクリックしてください。
ファイルからデータを読み込み、画面表示が更新されます。

[転送] ボタン

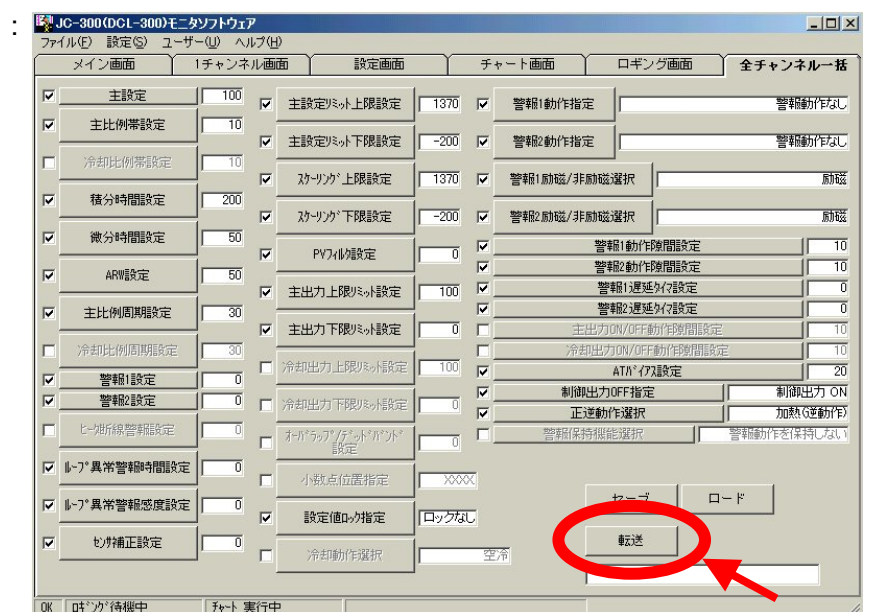


図2.3.1-19

このボタンをクリックすると、「全チャンネルのデータが上書きされます。よろしいですか？」という確認画面を表示します。

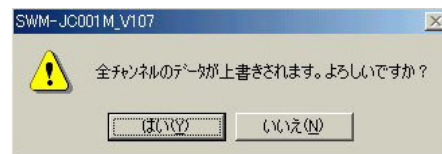


図2.3.1-20

[はい (Y)] ボタンをクリックすると、チェックを付けた設定／選択項目が接続されている全ての機器に転送します。

[いいえ (N)] ボタンをクリックすると、転送を中止します。

チェックの付いていない設定／選択項目は転送しません。

また、AT(オートチューニング)中の機器がある場合、以下の画面を表示し、転送しません。



図2.3.1-21

2.3.2 メニューバーの操作

(1) プリンタ選択

印刷に使用するプリンタを選択します。

- ① メニューバーの[**ファイル(E)**]-[**プリンタ選択(S)**]を選択し、クリックしてください。

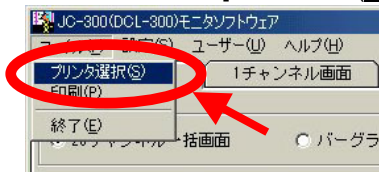


図 2.3.2-1

- ② プリンタ選択画面を表示します。

プリンタを選択し、[**OK**]ボタンをクリックしてください。

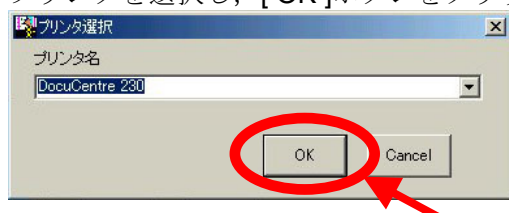


図 2.3.2-2

(2) 印刷

モニタソフト画面上の表示内容を印刷します。

- ① メニューバーの[**ファイル(E)**]-[**印刷(P)**]を選択し、クリックしてください。
モニタソフト画面上の表示内容を印刷します。

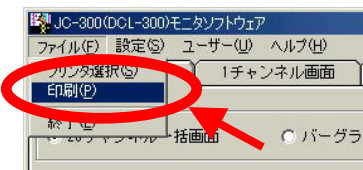


図 2.3.2-3

(3) モニタソフトの終了

モニタソフトを終了します。

- ① メニューバーの[**ファイル(E)**]-[**終了(E)**]を選択し、クリックしてください。

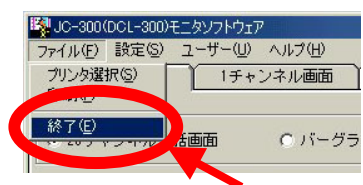


図2.3.2-4

- ② 終了確認画面を表示します。

終了する場合は[**はい(Y)**], 終了しない場合は[**いいえ(N)**]ボタンをクリックしてください。

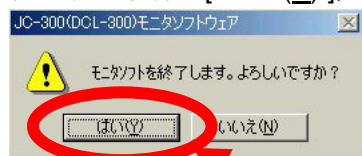


図2.3.2-5

(4) チャンネル名登録

モニタソフト画面上に表示されるチャンネル名を登録します。
登録したチャンネル名は、モニタソフト画面上やチャンネル名選択リストに表示します。

- ① メニューバーの[設定(S)]-[チャンネル名登録(C)]を選択しクリックしてください。

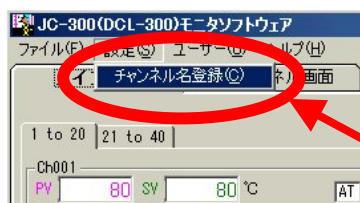


図 2.3.2-6

- ② チャンネル名登録画面を表示します。

チャンネル名を入力し、[OK]ボタンをクリックしてください。

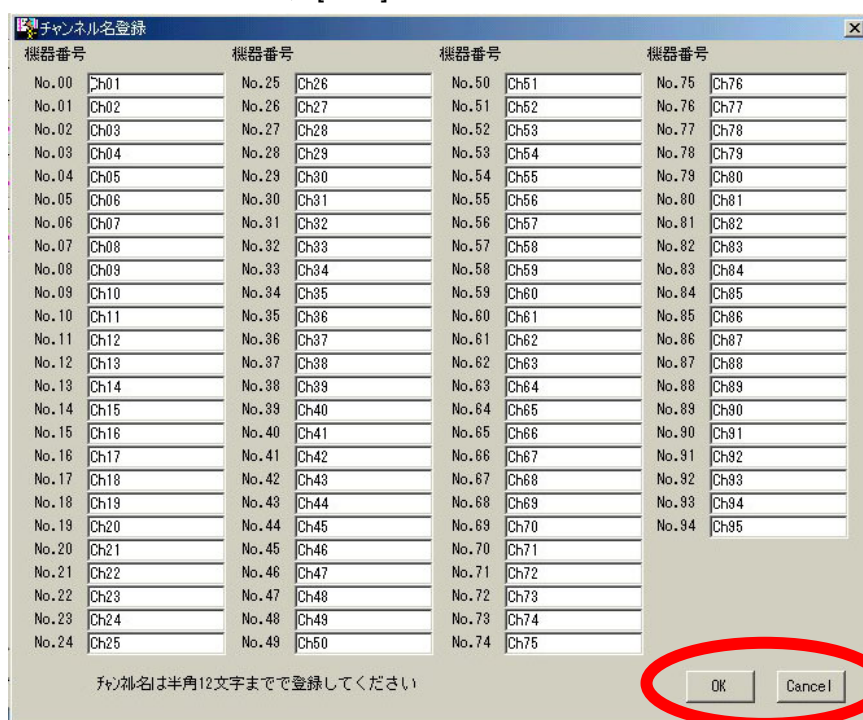


図 2.3.2-7

(5) 警報表示色設定

警報 1、警報 2 および複合警報(警報 1、警報 2 が同時にはたらいた場合)の表示色を設定します。
初期値は、全て赤色です。

- ① メニューバーの[設定(S)]-[警報表示色(A)]を選択し、クリックしてください。

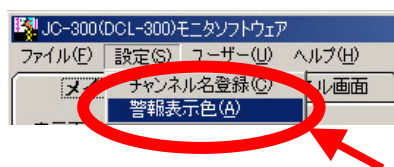


図 2.3.2-8

② 警報表示色設定画面を表示します。(図2.3.2-9)

表示色を変更したいボタンをクリックしてください。色の設定画面を表示します。(図2.3.2-10)

色の設定を行い、[OK]ボタンをクリックしてください。警報表示色設定画面に戻ります。

[OK]ボタンをクリックすると、モニタソフト内の警報表示灯が設定した色になります。

[キャンセル]ボタンをクリックすると、設定した色は無効になります。

複合警報(警報1, 警報2が同時にはたらいた場合)表示色設定で設定した色は、バーグラフ表示画面(→P.25 図2.3.1-2)のみ有効です。

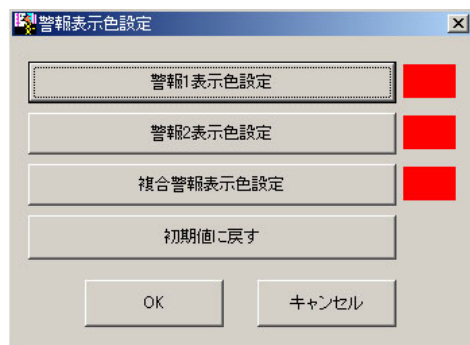


図2.3.2-9

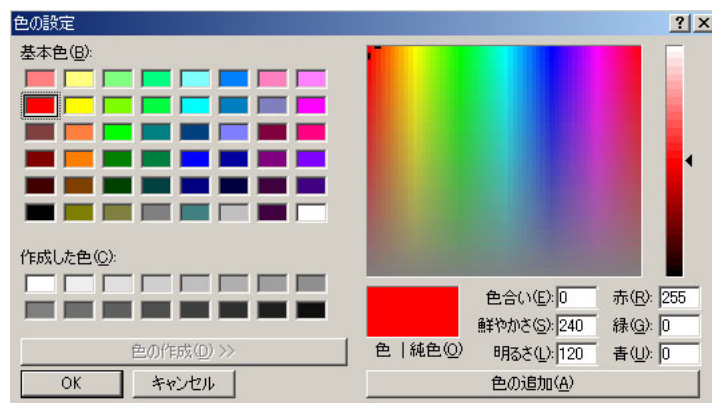


図2.3.2-10

(6) チャンネル単位 設定値のセーブとロード

画面上の設定値をチャンネル単位でファイルにセーブ(保存)またはファイルからロード(読み込み)を行います。チャンネル間のデータ転送を行えます。

- ① メニューバーの[ユーザー(U)]-[設定値のセーブ/ロード(G)]-[チャンネル単位(C)]を選択し、クリックしてください。

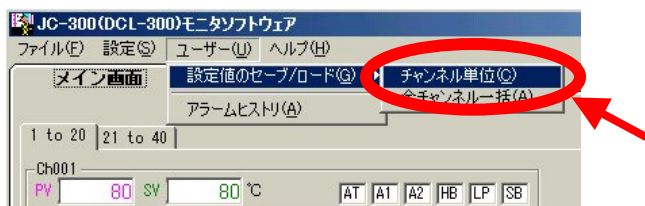


図2.3.2-11

- ② チャンネル単位 設定値セーブとロード画面が表示されます。

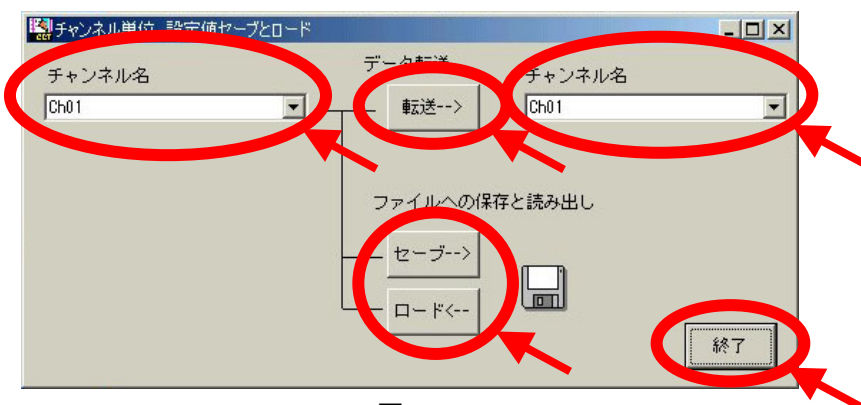


図 2.3.2-12

操作説明

- チャンネル名選択項目：セーブまたはロードするチャンネル名を選択してください。
データ転送の場合、転送先のチャンネル名も選択してください。
- [転送-->]ボタン：このボタンをクリックすると、転送元チャンネルの設定値が転送先チャンネルに転送されます。
ただし、JCx-33A - DCL-33A間のデータ転送は設定項目が異なる為行えません。
- [セーブ-->]ボタン：このボタンをクリックすると、「名前を付けて保存」ダイアログボックスが開きます。

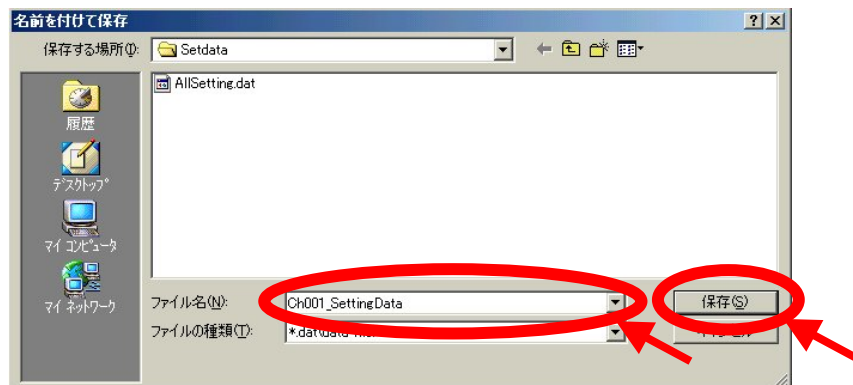


図2.3.2-13

ファイル名を入力し、[保存(S)]ボタンをクリックしてください。
選択したチャンネルの設定値をインストール先の Setdata フォルダ内ファイルに保存します。

- [<--ロード]ボタン：このボタンをクリックすると、「指定されたチャンネルにデータが上書きされます。よろしいですか?」という確認画面が表示されます。

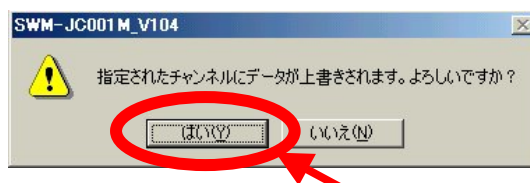


図 2.3.2-14

[はい(Y)]ボタンをクリックすると、「ファイルを開く」ダイアログボックスが開きます。

[いいえ(N)]ボタンをクリックすると、ロードを取り消し確認画面を閉じます。

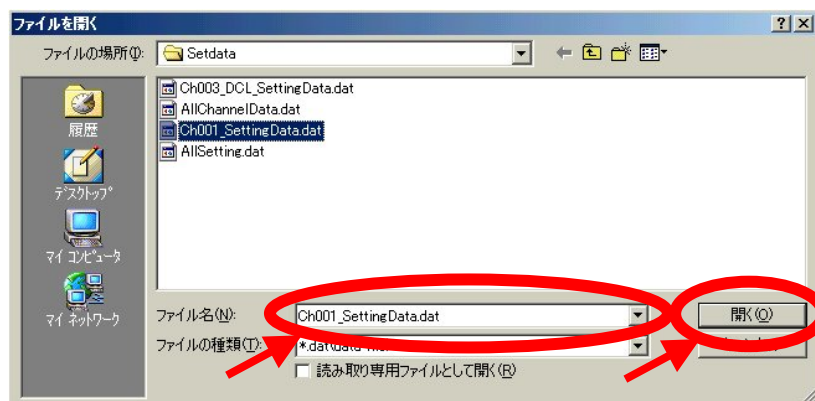


図2.3.2-15

ファイルを選択し、[開く(O)]ボタンをクリックしてください。
ファイルからデータを読み込み、選択したチャンネルの設定値を更新します。

[終了]ボタン : このボタンをクリックすると、チャンネル単位 設定値セーブとロード画面を閉じます。

(7) 全チャンネル一括 設定値のセーブとロード

画面上の全チャンネルの設定値をファイルにセーブ(保存)またはファイルからロード(読み込み)を行います。

- ① メニューバーの[ユーザー(U)]-[設定値のセーブ/ロード(G)]-[全チャンネル一括(A)]を選択し、クリックしてください。

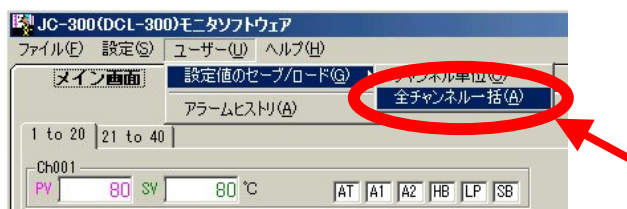


図2.3.2-16

- ② 全チャンネル一括 設定値セーブとロード画面を表示します。

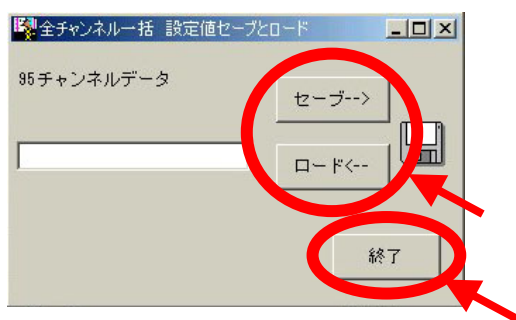


図 2.3.2-17

操作説明

[Save-->]ボタン : このボタンをクリックすると、「名前を付けて保存」ダイアログボックスが開きます。

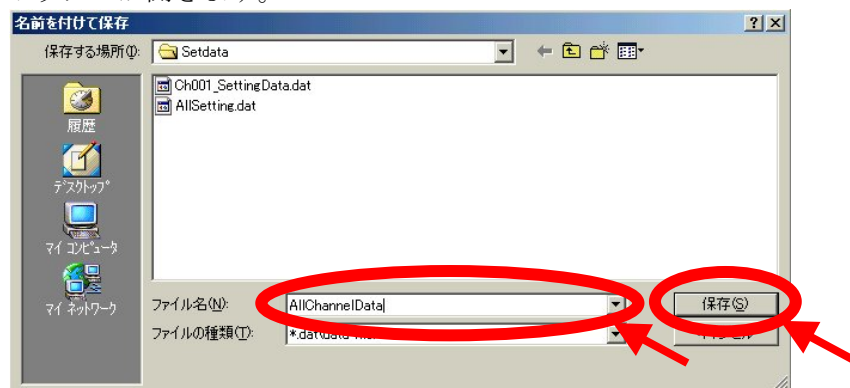


図2.3.2-18

ファイル名を入力し、[保存(S)]ボタンをクリックしてください。
全チャンネルの設定値をインストール先の Setdata フォルダ内ファイルに保存します。

[<--ロード]ボタン : このボタンをクリックすると、「全チャンネルのデータが上書きされます。よろしいですか?」という確認画面が表示されます。

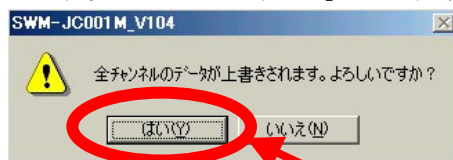


図 2.3.2-19

[はい(Y)]ボタンをクリックすると、「ファイルを開く」ダイアログボックスが開きます。

[いいえ(N)]ボタンをクリックすると、ロードを取り消し確認画面を閉じます。

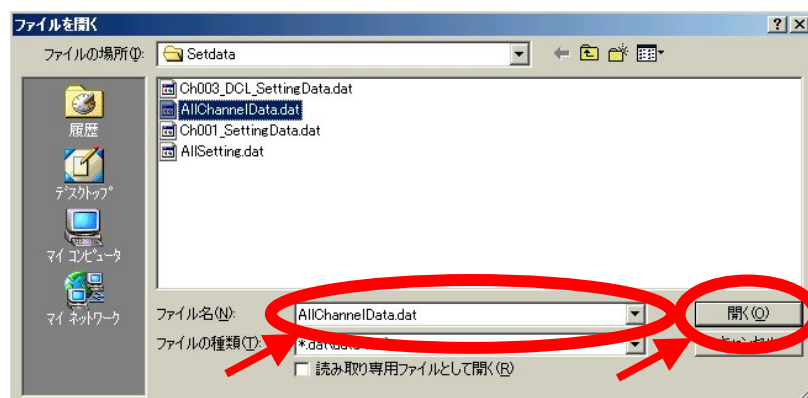


図2.3.2-20

ファイルを選択し、[開く(O)]ボタンをクリックしてください。ファイルからデータを読み込み、全チャンネルの設定値を更新します。

[終了]ボタン : このボタンをクリックすると、全チャンネル一括 設定値セーブとロード画面を閉じます。

(8) アラーム履歴画面

モニタ中の警報1, 2(A1, A2), ヒータ断線警報, アップスケール, ダウンスケール, ループ異常警報が発生した時および正常に戻った時のチャンネル名と時間を表示します。
インストール先の History フォルダ内に txt 拡張子でファイルに保存も行います。
ファイル名は, モニタソフトを起動した日時(His_西暦_月_日_時_分.txt)で自動的に設定されます。

- ① メニューバーの[ユーザー(U)]-[アラーム履歴(A)]を選択し, クリックしてください。

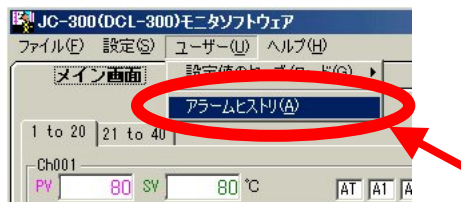


図2.3.2-21

- ② アラーム履歴画面が表示されます。

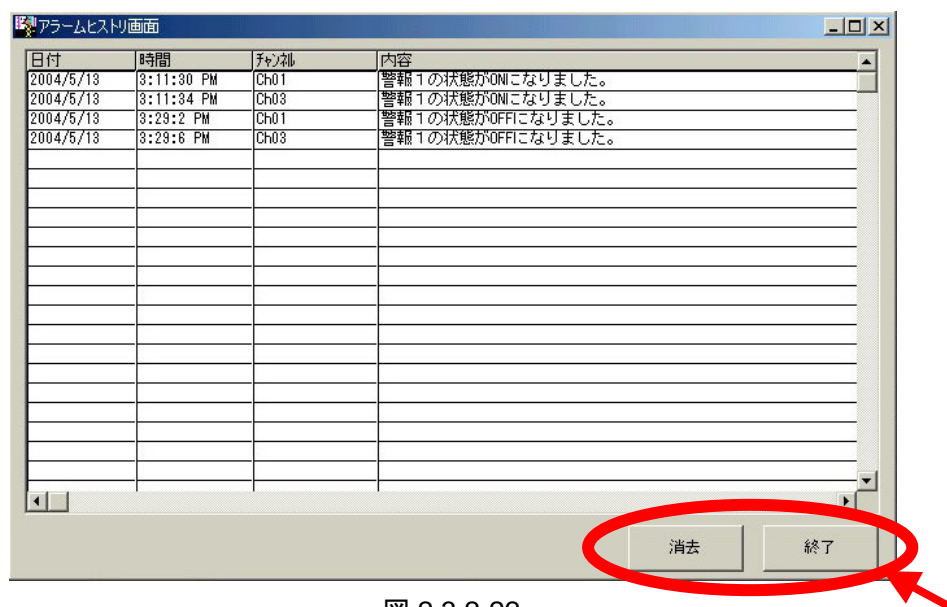


図 2.3.2-22

操作説明

- [消去]ボタン : このボタンをクリックすると, 画面上の履歴データを消去します。
[終了]ボタン : このボタンをクリックすると, アラーム履歴画面を閉じます。

(9) ヘルプ画面

モニタソフトの各画面や操作の説明を表示します。

- ① メニューバーの[ヘルプ(H)]-[ヘルプ(M)]を選択し、クリックしてください。

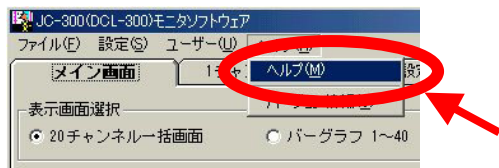


図2.3.2-23

- ② ヘルプ画面を表示します。

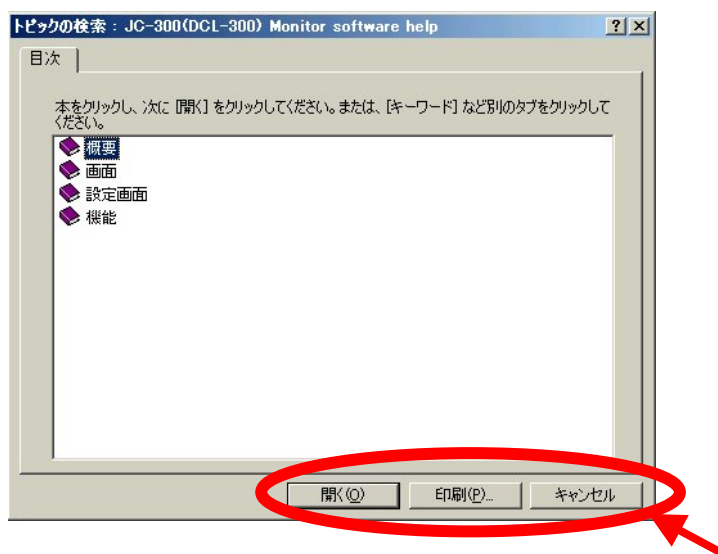


図 2.3.2-24

操作説明

- [開く(O)]ボタン : このボタンをクリックすると、選択したヘルプ内容を表示します。
閉じている本のアイコンを選択した場合、本を開きます。
開いている本を選択した場合、本を閉じます。
- [印刷(P)...]ボタン : このボタンをクリックすると、選択したヘルプ内容を印刷します。
本のアイコンを選択すると、その本に含まれる全てのヘルプ内容が印刷されます。
- [キャンセル]ボタン : このボタンをクリックすると、ヘルプ画面を閉じます。

(10) バージョン情報画面

モニタソフトのバージョン情報を表示します。

- ① メニューバーの[ヘルプ(H)] - [バージョン情報(V)]を選択し、クリックしてください。

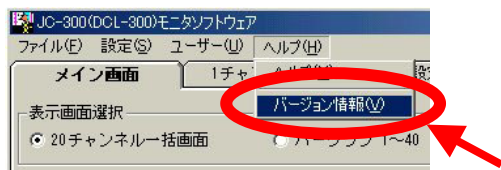


図2.3.2-25

- ② バージョン情報画面を表示します。



図 2.3.2-26

操作説明

[OK]ボタン : このボタンをクリックすると、バージョン情報画面を閉じます。

・・・お問い合わせは・・・

本モニタソフトについて不明な点がございましたら、お買い上げいただきました販売店、弊社営業所、または出張所まで問い合わせください。

なお、動作上の不具合については、その内容とご使用状態の詳細を具体的にお知らせください。

Shinko 神港テクノス株式会社

本 社 〒 562-0015 大阪府箕面市稲 1 丁目 2 番 4 8 号
TEL (072) 722-4571 FAX (072) 720-7823
URL: <http://www.shinko-technos.co.jp>
大阪営業所 〒 562-0015 大阪府箕面市稲 1 丁目 2 番 4 8 号
TEL (072) 724-6031 FAX (072) 724-6021
E-mail: sales@shinko-technos.co.jp
東京営業所 〒 332-0006 埼玉県川口市末広 1 丁目 1 3 番 1 7 号
TEL (048) 223-7121 FAX (048) 223-7120
名古屋営業所 〒 460-0007 名古屋市中区新栄 2 丁目 1 9 番 3 号
TEL (052) 261-8335 FAX (052) 251-3833

神奈川出張所 TEL: (045) 361-8270 / FAX: (045) 361-8271
静岡出張所 TEL: (054) 282-4088 / FAX: (054) 282-4088
広島出張所 TEL: (082) 231-7060 / FAX: (082) 234-4334
徳島出張所 TEL: (0883) 24-3570 / FAX: (0883) 24-3217
福岡出張所 TEL: (0942) 77-0403 / FAX: (0942) 77-3779

福岡工場 徳島工場 三田工場

No.SWMJC31J5HP 2004.09